

# GRASYS

## ユーザーマニュアル

- 1.本書の著作権は株式会社プラザクリエイトに属します。
- 2.本書の内容は、改良のため、将来予告なく変更する場合がございます。
- 3.本書の全部または一部を無断で複製することはできません。
- 4.本書内に記載している製品名の固有名称は、弊社または各社の商標または登録商標です。
- 5.本書内に置いて、誤りや記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 6.本プログラムの一部を利用または他目的のため利用した結果生じたいかなる問題について、弊社では項目5にかかわらず、何ら責任を負うものではありません。予めご了承ください。

<b>1. ご使用の前に</b>	<b>5</b>
1-1 安全にお使いいただくために	5
△警告：以下の事項を守らずにご使用になると、思わぬ事故や、火災や感電の原因となります。	5
1-1-1 設置場所	5
1-1-2 電源	5
1-1-3 取扱い	5
△注意：以下の事項を守らずにご使用になると、ケガや故障の原因となります。	5
1-1-4 設置場所について	5
1-1-5 電源について	6
1-1-6 取扱いについて	6
1-1-7 その他	6
1-2 注意	6
<b>2. 本マニュアルの対象機器</b>	<b>6</b>
<b>3. 各部の名称</b>	<b>8</b>
3-1 ID130シリーズ	8
3-1-1 外観	8
3-1-2 背面	8
3-1-3 プリンタ内部	8
3-1-4 正面	9
3-2 ID150シリーズ	9
3-2-1 外観	9
3-2-2 背面	9
3-2-3 プリンタ内部	10
3-2-4 内部（正面から）	10
3-3 リボンカートリッジとインクリボン	10
3-3-1 リボンカートリッジの機能	11
<b>4. 液晶パネル表示とボタン操作</b>	<b>11</b>
4-1 LCDパネル表示一覧（ID130シリーズの場合はWatchmanを使用）	11
4-2 エラー一覧と概要	13
<b>5. プリンターの設定</b>	<b>18</b>
5-1 リボンの装着準備	18
5-2 クリーニングローラー	19
5-3 印刷用のカードのセット	20
5-3-1 カードの厚さ	20
5-3-2 カードを揃える	21
5-3-3 ホッパーにカードをセット	21
5-3-5 カード挿入の場合	21
5-4 印刷後のカードの排出	21
<b>6. ID150L ラミネータ設定</b>	<b>22</b>
6-1 ラミネータフィルムの取り付け	22
6-2 ラミネータの設定	22
6-2-1 GRASYSプリンタドライバーから設定	23
6-2-2 GRASYSデザインソフトから設定	24
6-3 その他の設定	25

6-3-1 ラミネートだけを行う	25
<b>7. ドライバーのインストール (Windows 7)</b>	<b>26</b>
7-1 プリンタの電源	26
7-3 インストールメニュー	26
7-4 <ステップ 1>	26
7-5 ドライバーインストール	27
7-6 <ステップ 2>	27
7-7 <ステップ 3>	27
参考 ドライバーの手動インストール	30
<b>8. GRASYSソフトウェアのインストール</b>	<b>31</b>
8-1 インストールメニュー	31
<b>9. テストページの印刷</b>	<b>31</b>
9-1 準備	31
9-2 デバイスとプリンター	32
9-3 テストページの印刷	32
9-3 テストページの印刷	32
<b>10. プリンタのメンテナンス</b>	<b>33</b>
10-1 通常のお手入れ	33
10-1-1 クリーニングローラーの交換	33
10-1-2 クリーニングカードで清掃	33
10-1-3 ホッパー部ローラーの清掃	33
10-2 内部ローラーの清掃	33
10-2-1 プリントローラー	33
10-2-2 ICローラー	34
10-2-3 MSローラーの清掃	34
10-2-4 クリーニングローラーの清掃	34
10-2-5 固定クリーニングローラーの清掃	34
10-2-6 ヘッドの清掃	35
10-3-6 カラーセンサーの清掃 1	35
10-3-7 カラーセンサーの清掃 2	35
<b>11. ID130仕様</b>	<b>36</b>
<b>12. ID150仕様</b>	<b>37</b>
<b>13. 共通仕様</b>	<b>38</b>
<b>14. ユーティリティソフト</b>	<b>39</b>
14-1 Card Printer Setup	39
14-1-2 Card Printer Setupの表示内容	39
14-2 印刷の調整	40
14-2-1 設定項目と調整可能範囲	40
14-3 調整	40
14-4 印刷位置の調整	41
14-5 濃度の調整 (Density)	41
14-5-1 カラーの濃度 (YMC Density)	41
14-5-2 黒の濃度 (Black Density)	42
14-5-3 オーバーレイの濃度 (OverLay Density)	43

14-5-4 設定の保存、読み出し、標準設定	43
14-5-5 デフォルト設定	44
14-6. 拡張設定	44
14-6-1 ローテーター角度の調整 (ID130W/ID150W/150Lのみ)	44
14-6-2 設定手順	45
14-7. プリンタ診断	46
14-7-1 画面構成	46
14-7-2カード搬送動作チェック	46
14-7-3 プリンターのステイタス確認	47
14-7-4 センサーのステイタス確認	47
14-8 ファームウェア更新	50
14-9 エンコードテスト	51
14-9-1 磁気カードの読み取りと書き込み	51
14-9-3 ICカード (Mifare) の読み取りと書込	52
14-9-4 非接触式ICカード (Mifare) の読取りと書込み	53
<b>15. 印刷品質</b>	<b>54</b>
15-1 リボンの貼り付き、濃度が薄い／濃い	54
15-2 ホコリ、ゴミ	54
15-3-1 カード長辺の端がヨレ状の印刷	55
15-4 カードの一部が印刷されない	56
15-5 カードに白い線が発生する	56
15-5-1 カードが真っ黒な状態で印刷される	56
15-6 色ズレ	56
15-7 印刷不均一	57
15-8 予期しない色	57
<b>16. 磁気エンコード</b>	<b>57</b>
<b>17. リボンが認識されない</b>	<b>57</b>
<b>18. プリンタが動作しない、認識されない</b>	<b>57</b>

# 1. ご使用の前に

## 1-1 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。  
また、本書に記載されていること以外を行わないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

---

**△警告：以下の事項を守らずにご使用になると、思わぬ事故や、火災や感電の原因となります。**

---

### 1-1-1 設置場所

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
ストーブなど、発熱か機器に近い場所や燃えやすいものの近くには置かないでください。  
換気のため、下図の設置スペースを確保してください。また、プリンタ上部は空間を確保してください。  
プリンタ上部の通気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。

### 1-1-2 電源

専用の電源ケーブルを使用して下さい。  
タコ足配線はしないでください。  
電源プラグやコンセントホコリが付着している場合は、必ず取り除いてください。  
湿気を帯びるなどでホコリに微小な電流が流れ、発熱や火災の原因となります。  
ACアダプターや電源ケーブル、プラグを破損したり加工したりしないでください。  
引っばったり、無理に曲げたりしないでください。  
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
プリンタを移動する場合は、電源を切って、かならず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っばらず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

### 1-1-3 取扱い

強燃性のスプレーを近くで使用しないでください。  
エアダスターなど、清掃で使用する場合は、必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから実施して下さい。  
プリンタの内部には高熱になるヘッドがあります。印刷直後は絶対に手で触れないでください。

---

**△注意：以下の事項を守らずにご使用になると、ケガや故障の原因となります。**

---

### 1-1-4 設置場所について

安定性の悪い台、傾いた場所、振動が多い場所には置かないで下さい。  
温度や湿度が急激に変化する場所に置かないでください。  
直射日光が当たる場所には置かないでください。  
プリンタを2台以上ならべて使用する場合はセンサーの電波干渉を避けるため20cm以上離して下さい。

使用していないインクリボンはプリンタのすぐ横に置かないで下さい、動作に影響を及ぼす可能性があります。

---

### 1-1-5 電源について

定格未滿の延長コード（125V/10A）は使用しないでください

---

### 1-1-6 取扱いについて

プリンタの上に重いものを載せたり、手をついたりしないでください。

プリンタを移動する場合や持ち上げる場合はUSBケーブルと電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

ケーブルが接続された状態でプリンタの手前側をもちあげないでください。ケーブルと本体の端子が破損する場合があります。

動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、プリンタのカバーを開かないで下さい。

---

### 1-1-7 その他

- プリンタ内部のヘッドの温度が上がると冷却のためにファンが回りますが、故障ではありません。
- テレビ、ラジオなど電子機器の近くに置いた場合、影響を受けることがありますので近くに置かないで下さい

---

## 1-2 注意

### 1-2-1 著作権に関して

写真・絵画、デザインなど他人の肖像や著作物を無断で使用することは法律で禁止されています。

他人の肖像著作物を無断で使用したり、法律で禁止された目的に使用したりしないでください。

### 1-2-2 カード保管上の注意

以下の場合、発行後のカードのプリントイメージが劣化したり、カードが変形したりする場合があります。

- ビニール製カードケース、ホルダー、合成皮革などの可塑剤が含まれているものカード表面を長時間触れさせている場合
- カード表面が長時間直射日光にさらされる場合
- カードを硬いものに繰り返し擦りつけた場合
- カードの印刷面どうしを長時間密着させた場合
- 炎天下の車中など、カードを高温となる場所に長時間保管した場合
- 磁気ストライプカードの場合、磁気のある場所に近づけると、データが消えることがあります。

## 2. 本マニュアルの対象機器

GRASYSシリーズ

ID130, ID130R, ID150, ID150W, ID150L



### **ID130シリーズ**

- ID130 片面用フルカラーIDカードプリンター
- ID130W 両面对応フルカラーIDカードプリンター
- ID130R リライトカードプリンター

### **ID150シリーズ**

- ID150 片面用フルカラーIDカードプリンター
- ID150 W 両面对応フルカラーIDカードプリンター
- ID150L 両面・ラミネート対応フルカラーIDカードプリンター

## 3. 各部の名称

### 3-1 ID130シリーズ

#### 3-1-1 外観

- ① トップカバーオープンボタン  
ボタンを押すとトップカバーが開きます
- ② ホッパーカバー、挿入部  
印刷用のカードをセットする場所です
- ③ LEDボタン  
プリンターの状態をランプでお知らせします
- ④ スタッカー  
印刷済カードが排出される場所です



#### 3-1-2 背面

- 1 背面カード排出部  
印刷済のカードを背面から排出する場合の出口です（設定が必要です）
- 2 電源スイッチ  
プリンタの電源スイッチです
- 3 電源コネクタ（24V）  
専用ACアダプタの電源挿入口です
- 4 ネットワークポート  
ネットワーク接続の際のイーサネットケーブル差込口です  
※オプションのネットワークがインストールされていない場合は閉じています
- 5 USBポート  
USBケーブルの差込口です。



#### 3-1-3 プリンタ内部

**(注意! サーマルプリントヘッド③は印刷後、とても熱くなっています。サーマルヘッド表面を指や鋭角な金属などで触れないでください。印刷品質の劣化やヘッドにダメージを与えます。)**

- ① ホッパー  
カードをプリンタ内部にローディングします。
- ② リボンカートリッジ  
使い捨てのリボンをこのカートリッジに入れて使用します。\*カートリッジは継続使用。
- ③ サーマルプリントヘッド  
カード印刷用サーマルヘッド、YMCリボンは昇華転写方式、K・オーバーレイリボンは熱溶解方式で印刷します。





### 3-1-4 正面

#### ① カード厚調整ネジ

使用するカードの厚みに合わせて設定します。

通常は0.8mm、ネジを緩めると狭まり0.5mmになります、ネジを締めて下さい

#### ② LEDボタン

エラーなどステータス表示やリセット等で使用します。

#### ③ スタッカー

印刷済カードの排出口です。



## 3-2 ID150シリーズ

ID150シリーズは磁気エンコード、ICカードエンコード、非接触ICカードエンコード、両面回転、ラミネートなど種々オプションにより機能拡張が可能なモデルです。

### 3-2-1 外観

#### 1 トップカバーオープンボタン

ボタンを押すと開きます

#### 2 外部非接触スマートカードエンコード位置（オプション）

非接触カードエンコーダー取付時に有効になります

#### 3 排熱ファン

ヘッドの熱が高くなった場合にファンが起動して排熱する際のスリットです

#### 4 ホッパーカバー、カード挿入部

印刷するカードをセットする場所です

#### 5 LCDディスプレイ

プリンターの状態をLCDに表示します

#### 6 LEDボタン

LCDと連動し、操作ボタンとして機能します

#### 7 内臓SIMリーダー（オプション）

SIMリーダー取付時に有効になります



### 3-2-2 背面

#### 1 背面カード排出部

印刷済のカードを背面から排出する場合の出口です（設定が必要です）

#### 2 電源ボタン

プリンターの電源スイッチです

#### 3 電源コネクタ（24V）

専用ACアダプタの電源挿入口です

#### 4 ネットワークポート

ネットワーク接続の際のイーサネットケーブル差込口です

※オプションのネットワークがインストールされていない場合は閉じています

#### 5 USBポート

USBケーブルの差込口です。



### 3-2-3 プリンタ内部

(注意! 印刷後のヘッド④はとても熱くなっています。サーマルヘッド表面を指や鋭角な金属などで触れないでください。印刷品質の劣化やヘッドにダメージを与えます。)

① ホッパー

カードをプリンタ内部にローディングします。

② カード厚調整レバー

印刷するカード厚に合わせて調整します。

③ リボンカートリッジ

使い捨てのリボンをこのカートリッジに入れて使用します。

カートリッジは継続使用します。

④ サーマルプリントヘッド

カード印刷用サーマルヘッド、YMCリボンは昇華転写方式、K・オーバーレイリボンは熱溶融方式で印刷します。

⑤ LCD

プリンタのステータスを表示します。

⑥ LEDボタン (左右)

操作ボタン



### 3-2-4 内部 (正面から)

① スタッカー

印刷済カードが排出され、積まれる場所です

② カード厚調整レバー

使用するカードの厚みに合わせて調整します



### 3-3 リボンカートリッジとインクリボン

1 リボンカートリッジ本体

2 リボン巻取り側

3 リボン供給側

4 使い捨てクリーニングローラー

リボンに同梱されている使い捨てクリーニングローラーを装着します

GRASYS ID130R (リライト) の場合、リボンは装着せず、使い捨てクリーニングローラーだけを装着して使用します



リボンカートリッジはプリンタの一部として機能します、装着せずにプリンタを起動できません。カートリッジの破損などの場合は販売店へ連絡してください。

### 3-3-1 リボンカートリッジの機能

1 巻取り・2 供給部

リボンは右図のように供給側に巻かれています。



4 使い捨てクリーニングローラー

カード印刷前にカード表面のホコリを取り除き、印刷表面の品質を保ちます。リボンを交換する際に一緒に交換してください

装着後に表面保護用のシートを剥がして使用してください。

使い捨てクリーニングローラーリボンに同梱されています、GRASYS ID130R（リライト）の場合はクリーニングローラーを別途注文してください。

## 4. 液晶パネル表示とボタン操作

GRASYS ID150シリーズは状況をLCDに表示します。

GRASYS ID130シリーズは監視ソフトWatchmanがPCで起動されている場合にPCウインドウトレイに表示されます。[\\*CDのGrasysフォルダ内、Watchman.exeを起動します。](#)

### 4-1 LCDパネル表示一覧 (ID130シリーズの場合はWatchmanを使用)

No 液晶パネル 表示	LEDライト		ボタンの機能		ステータス 詳細	詳細
	左	右	左	右		
Ver X.XX… Initialize…	点灯	点灯			初期化中	ファームウェアのバージョンを表示
INIT Error xx <Replay Replay>	点滅	点滅	再初期化	再初期化	初期化中のエラーを表示	初期化中に出たエラー番号を表示。どのボタンを押しても再初期化を開始します。
GRASYS Auto Ribbon Set	点灯	点灯			自動リボン設定	自動的にリボンを最適化
Auto Ribbon Set Fail!!!!	点滅	点滅			自動リボン設定エラー	自動リボン設定のエラー時に表示
Auto Ribbon Set Color=xxx(xxx)	点滅	点滅			リボン色値を表	自動リボン設定が失敗した場合、リボンの色値を表示
GRASYS System Ready	点灯	点灯			スタンバイ	印刷可能な状態。左ボタンでリボンの種類と残数を確認、右ボタンで電源ON / OFFをコントロール。※ラミネータがセットされている場合はラミネータのメッセージが上段のGRASYSの部分に表示
Wait.. 1°C Temperature=xxx	点滅	点滅	リボン種/ 残数表示	電源ON/ OFF	プリンタの作動温度が1°C以下	作動温度が1°C以下の場合に表示。通常の使用環境は15°C～35°Cです。
GRASYS Unlock Please..	点灯	点灯			プリンタロック中	オプションの物理キーを有効にしてロックしている、またはルート/ユーザ認証オプションを有効にしてパスワードでロックしている状態。プリンタを操作することができないようにロックされています。

GRASYS Verify your PC	点灯	点灯			接続PCに使用権限が無い	PCの認証オプションを有効にしており他のPCでプリンタを使用している状態。プリンタの操作はできません。(4.1.3.7を参照)
Ribbon Balance Type / Q'ty	点灯	点灯	カード排出		リボン種類/インク残数	現在セットされているリボンの種類と残数が表示されます。Kリボンのみ残量は不正です。 ※左のボタンを押すと、ラミネータがセットされている場合にはラミネートフィルムの残数が表示されます。そして再び押すと、プリンタがカードを排出します。
GRASYS Printing!	点灯	点灯			印刷中	
GRASYS Mag R/W	点灯	点灯			磁気情報書き込み中	磁気ストライプに書込中
Spool Error! <-Any Key Push->	点滅	点滅			印刷データ転送エラー	印刷データ転送エラー、左右いずれかのボタンを押すと初期化され、印刷待ち状態になります
Print Error xx <Replay Cancel>	点滅	点滅			印刷/搬送エラー	印刷/搬送エラー。(1.4.4を参照) 左ボタンを押すとリトライ、右ボタンを押すと印刷はキャンセルされます。
Top Cover Open <-Card Moving ->	点滅	点滅			トップカバーが開いています	トップカバーが開いている状態。左右のボタンを同時に押すと、サーマルヘッドを上下に動かすことができます。※ローテーター装備の場合、同じ操作でローテーターが回転します
Check Please.. Ribbon Not Found	点滅	点滅			リボン未セット/認識エラー	インクリボンの認識が出来ない状態。インクリボンの状態を確認して再度セットしてください
Check Please.. Ribbon Zero	点滅	点滅			リボン残量なし	インクリボン切れです。リボンを交換してください。
Check Please.. TPH Not Found	点滅	点滅			サーマルヘッド認識せず	電源をオフにしてからサーマルヘッドのケーブルが外れていないか等確認してください。
Print Error xx Top Cover Open	点滅	点滅			印刷エラー (内部)	初期化またはトップカバーを閉じたときにカードが排出していない。 カードを取り除いてからトップカバーを閉じます。
Card Out Error <Replay Cancel>	点滅	点滅			カード排出エラー (内部)	ファームウェアのダウンロード中です、自動的に再起動されるまで電源を切らないでください。 通常は約20秒程度かかります。
GRASYS Download...	点灯	点灯			ファームウェアダウンロード中	センサーとプリンタのモータを確認することができる状態。 LEDの状態は、ユーザ側で定義することができます。
Board Test Mode Wait	点滅	点滅			テストモード	<b>メンテナンス用</b> 、センサーとプリンタのモータを確認することができる状態。 LEDの状態は、ユーザ側で定義することができます。
Lam-t cover open Please close	点滅	点滅			ラミネータのトップカバーがオープン	トップカバーを閉じてください
Lam-t Film Zero System Ready	点灯	点灯	フィルム種/残数	電源ON/OFF	ラミネートフィルム残が無い	フィルムを交換してください

Lam-t Film Empty System Ready	点灯	点灯	フィルム種 / 残数	電源ON/ OFF	ラミネートフィルム未認識	フィルムを認識していません、確認して再度セットしてください
Lam-t Error xx Plz Error Clear	点滅	点滅			ラミネータのエラー	エラーコードを確認してください。

## 4-2 エラー一覧と概要

LCDパネルまたはWatchmanに表示されるエラー番号とその内容

番号	表示	内容	確認項目
00	<b>Card in error</b>	カード挿入エラー 1. カードの挿入に失敗 2. 想定される原因 - カードがホッパーにない - 間違ったサイズのカードを使用 - カードの厚み調整が異なる - ホッパー内部ローラーの汚れ - クリーニングローラーの汚れ	1. カードがホッパーにあるか確認 2. カードのサイズを確認 (54X86ミリ) 3. カードの厚さを確認しカード厚み調整レバーを再確認 4. カード挿入部の汚れを確認 5. エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡
01	<b>Card move center error</b>	中央へのカード移動エラー 1. カード搬送エラー 2. 想定される原因 - クリーニングローラーの汚れ - 異なるサイズのカードを使 - カードにリボンが貼り付いている - カードの材質の不良 - カードがカールしている	1. カードのサイズを確認 (54X86ミリ) 2. ローラーとカードの汚れを確認 3. カードの材質を確認 4. エラー番号とカードの停止位置を確認しコールセンターへ連絡
02	<b>Card out error</b>	カード排出エラー 1. 印刷またはエンコーディング後、カード排出に失敗 2. 想定される原因 - クリーニングローラーの汚れ - カードにリボンが貼り付いている - 異なるサイズのカードを使用 - カードの材質の不良 - カールしたカードを使用している - カードがローテーター内に残っている (150W) - ローテーターの角度調整の不良 (150W)	1. カードサイズを確認 (54X86ミリ) 2. ローラーやカードの汚れを確認 3. カードの材質を確認 4. CardPrinterSetupのAuto Rotator Setを実行してローテーター角度を調整 5. エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡
03	<b>Card move magnetic error</b>	カード移動エラー (磁気) 1. 磁気エンコード位置へカードを移動できない 2. 想定される原因 - エラー01の原因をすべて含む	1. エラー01のすべての対策に同じ 2. エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡
04	<b>Card move contact encoder error</b>	カード移動エラー (IC接触式) 1. 接触型ICエンコード位置へカードを移動できない 2. 想定される原因 - エラー01の原因をすべて含む	1. エラー01のすべての対策に同じ 2. エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡

05	<b>Card move contactless encoder error</b>	<p>カード移動エラー（IC非接触式）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.非接触型ICエンコード位置へカードを移動できない</li> <li>2.想定される原因</li> </ol> <p>- エラー01の原因をすべて含む</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.エラー01のすべての対策に同じ</li> <li>2.エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
06	<b>Card move error from the printer to flipper</b>	<p>カード移動エラー（プリンタ～ローテーター間）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ローテーターへのカード搬送に失敗</li> <li>2.想定される原因</li> </ol> <p>- 異なるカードサイズの使用 - ローテーター角度の不良 - ローテーターのトップの位置不良 - エラー01の原因をすべて含む</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.カードサイズを確認（54X86ミリ）</li> <li>2.ローラーやカードを確認、汚れている場合は清掃</li> <li>3.ローテーター角度を確認、CardPrinterSetupの“Auto Rotator Set”を実行しローテーター角度を調整</li> <li>4.エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
07	<b>Card move error from the flipper to printer</b>	<p>カード移動エラー（ローテーター～プリンタ間）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ローテーターからプリンタへカード搬送失敗</li> <li>2.主な原因</li> </ol> <p>- 間違ったカードサイズの使用 - ローテーターの角度の不良 - ローテーターのトップのセットアップ不良 - センサーやローテーターのメインボードの故障 - エラー01の原因をすべて含む</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.カードサイズを確認（54X86ミリ）</li> <li>2.ローラーやカードを確認、汚れている場合は清掃</li> <li>3.ローテーター角度を確認し、CardPrinterSetupの“Auto Rotator Set”を実行し、ローテーター角度を調整</li> <li>4.エラー番号とカードの停止位置を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
08	<b>Print head up error</b>	<p>サーマルヘッドアップエラー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ヘッド用モーターやセンサーが正しく動作しない</li> <li>2.主な原因</li> </ol> <p>-センサー／モーター故障の可能性</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.CardPrinterDignostics.exeユーティリティで動作確認</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
09	<b>Print head down error</b>	<p>サーマルヘッドアップエラー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ヘッド用モーターやセンサーが正しく動作しない</li> <li>2.主な原因</li> </ol> <p>-センサー／モーター故障の可能性</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.CardPrinterDignostics.exeユーティリティで動作確認</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
10	<b>IC contact up</b>	<p>ICコンタクト アップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.IC用モーターやセンサーが正しく動作しない。</li> <li>2.主な原因</li> </ol> <p>-モーター／基板故障の可能性</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.CardPrinterDignostics.exeユーティリティで動作確認</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
11	<b>IC contact down</b>	<p>ICコンタクト ダウン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.IC用モーターやセンサーが正しく動作しない。</li> <li>2.主な原因</li> </ol> <p>-モーター／基板故障の可能性</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.CardPrinterDignostics.exeユーティリティで動作確認</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>

12	<b>Flipper top error</b>	<p>ローテーター上部エラー</p> <p>1.カードの回転中に正しくない状態</p> <p>2.主要な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ローテーター位置設定の不良</li> <li>- カードがローテーターの間に詰まっている</li> <li>- カードやその他の障害物がある場合は、それを取り除く必要があります。</li> </ul>	<p>1.プリンタとローテーターの間にカードがないか確認</p> <p>2.CardPrinterSetupの“Auto Rotator Set”を実行し、ローテーター角度を調整</p> <p>3.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
13	<b>Flipper bottom error</b>	<p>ローテーター底部エラー</p> <p>1.カードの回転中に正しくない状態</p> <p>2.主要な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ローテーター位置設定の不良</li> <li>- カードがローテーターの間に詰まっている</li> <li>- カードやその他の障害物がある場合は、それを取り除く必要があります。</li> </ul>	<p>1.プリンタとローテーターの間にカードがないか確認</p> <p>2.CardPrinterSetupの“Auto Rotator Set”を実行し、ローテーター角度を調整</p> <p>3.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
14	<b>Error in printing</b>	<p>プリントエラー</p> <p>1.印刷工程で発生するすべてのエラーに関連して発生 (リボン、カード搬送やヘッド動作など)</p> <p>他のエラーコードを含んでいる場合が多い</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 不良の印字データ</li> <li>- USBポートの故障</li> <li>- USBケーブルの故障</li> </ul>	<p>1.印刷データを確認してください。</p> <p>2.印刷ポートを含むプリンタドライバの動作状態を確認してください。</p> <p>3.接続状態を含む、USBケーブルおよびポートの状態を確認してください。</p> <p>4.別のエラーが発生した場合は、すべてのエラーをチェックする必要があります。</p> <p>5.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
15	<b>Magnetic stripe read/write error</b>	<p>磁気読み書きエラー</p> <p>1.磁気ストライプの読み/書きに失敗</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 間違ったカードサイズの使用</li> <li>- エンコードデータの不良</li> <li>- 磁気ヘッドの故障</li> <li>- 磁気ボードの故障</li> <li>- 磁気ストライプの故障や保磁力の設定不良(HiCo/LoCo)</li> <li>- カード搬送の不良</li> </ul>	<p>1.カードサイズを確認 (54X86ミリ)</p> <p>2.エンコードデータ (各トラック上で使用されるテキストと特殊文字)を確認</p> <p>3.カード表面の磁気ストライプを確認してください。</p> <p>4.クリーニング実施</p> <p>5.カードの種類、向きと磁力(HiCo/LoCo)を確認してください。</p> <p>6.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
16	<b>Ribbon search error</b>	<p>インクリボン検索エラー</p> <p>1.リボンのパネルを検索できない</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- カラーセンサーの汚れあるいは故障</li> </ul>	<p>1.再起動し、再印刷テスト</p> <p>2.カラーイン/アウトセンサー表面を清掃</p> <p>3.リボンがカードやローラーに貼り付いていないか確認、貼り付いている場合は濃度を調整する必要あり</p> <p>4.リボンギアを手で回し状態を確認</p> <p>5.リボンの種類や残量を確認</p> <p>6.プリンタのファームウェアの確認と更新</p> <p>7.新しいリボンで起動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新しいリボンで動作する場合</li> <li>-&gt; リボンのICタグが壊れている、新しいリボンを使用</li> <li>- 新しいリボンで動作しない場合</li> </ul> <p>エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>

17	<b>Ribbon move error</b>	<p>インクリボン移動エラー</p> <p>1.リボンを巻くことができない</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- エンコーダセンサーの故障</li> <li>- リボンモーターの故障</li> <li>- リボン供給ギア/巻き取りギアの不良</li> <li>- I/Oケーブル左 (CON7) の障害</li> </ul>	<p>1.リボンがカードやローラーに貼り付いていないか確認、貼り付いている場合は濃度を調整する必要あり</p> <p>2.リボンカートリッジを外し、再取付</p> <p>3.リボンの残量を確認</p> <p>4.プリンタ内のリボンの供給/巻き取りの動作状態を確認</p> <p>6.リボンのギアと軸の状態を確認</p> <p>7.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
18	<b>No print head installed</b>	<p>プリンタヘッドが装着されていません</p> <p>1.ヘッドが取り付けられていない、あるいは認識されていない</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-ヘッド、ケーブル、基板の故障の可能性</li> </ul>	<p>1.サーマルプリントヘッドケーブルの接続状態を確認します。</p> <p>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>
19	<b>Print head over heating</b>	<p>プリンタヘッドがオーバーヒート</p> <p>1.ヘッドが過熱した場合、ヘッドを保護するために停止してメッセージを表示します</p> <p>2.主要な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- サーマルプリントヘッドが高熱になったため</li> </ul>	<p>1.トップカバーのFANの動作状態を確認してください。</p> <p>2.環境の温度が非常に高いときに暗い画像や鮮やかな画像を大量に短時間で印刷されている場合このエラーメッセージが表示される場合があります。10分間程度停止させ再印刷してください。</p>
20	<b>No ribbon</b>	<p>インクリボンがありません</p> <p>1.リボンがセットされていない、あるいはリボンセンサーボードが故障</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-リボンがない</li> <li>- リボンRFボードの故障</li> <li>- リボンRFボードFFCケーブルの故障</li> </ul>	<p>1.リボンがカセットに入っているかチェックします。</p> <p>2.新しいリボンで初期化を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新しいリボンで動作が確認できる場合-&gt; リボンのタグが壊れているため- リボンタグの故障リボンを交換してください。</li> <li>- 新しいリボンでも動作しない場合-&gt; エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ul>
21	<b>Printing data error</b>	<p>印刷データエラー</p> <p>1.異常な印刷データが送信された場合。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 印刷データ異常</li> </ul>	<p>1.USBケーブルとポート (PCとプリンタ) の接続状態を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 接続状態が正しい場合は、USBケーブルを交換してください。</li> </ul> <p>2.PCの動作状態を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- USBポートの故障</li> <li>- USBケーブルの故障</li> <li>- PCの印刷ポートを変更してとテストしてください。</li> <li>- プリンタドライバを削除して再インストールしてください。</li> </ul> <p>3.アプリケーションの動作状態を確認してください。</p>
22	<b>Card back out error</b>	<p>カード背面排出エラー</p> <p>1.プリンタ背面へのカード排出に失敗。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-異なるカードサイズの使用</li> <li>-ローテーターの角度不良 (150W)</li> </ul>	<p>*背面排出設定時のみに発生</p> <p>1.カードのサイズを確認 (54X86ミリ)</p> <p>2.カードやローラーの状態を確認し、汚れている場合はきれいにしてください。</p> <p>3.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</p>



23	<b>Magnetic data erasing error</b>	<p>磁気データ消去エラー</p> <p>1.磁気エンコードデータを消去することができない。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 異なるカードサイズの使用</li> <li>- 磁気エンコードデータの不良</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.カードのサイズを確認 (54X86ミリ)</li> <li>2.カード種、方向、HICO/ LOCOを確認</li> <li>3.クリーニング実施</li> <li>4.エンコードの元データを確認</li> <li>5. 5.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
24	<b>Printer password is not correct</b>	<p>プリンタパスワードが間違っています</p> <p>1.パスワードが正しくない場合</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.正しいパスワードを入力 パスワードを忘れた場合は、プリンタを使用することはできない</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
25	<b>Magnetic stripe track1 read error</b>	<p>磁気トラック1読み込みエラー</p> <p>1.トラック1の磁気エンコードデータの読み込み失敗。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 異なるカードサイズの使用</li> <li>- 磁気エンコードデータの不良</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.カードのサイズを確認 (54X86ミリ)</li> <li>2.カード種、方向、HICO/ LOCOを確認</li> <li>3.クリーニング実施</li> <li>4.エンコードの元データを確認</li> <li>5. 5.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
26	<b>Magnetic stripe track2 read error</b>	<p>磁気トラック2読み込みエラー</p> <p>1.トラック2の磁気エンコードデータの読み込み失敗。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 異なるカードサイズの使用</li> <li>- 磁気エンコードデータの不良</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.エラー25のすべての対策を含む</li> </ol>
27	<b>Magnetic stripe track3 read error</b>	<p>磁気トラック3読み込みエラー</p> <p>1.トラック3の磁気エンコードデータの読み込み失敗。</p> <p>2.主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 異なるカードサイズの使用</li> <li>- 磁気エンコードデータの不良</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.エラー25のすべての対策を含む</li> </ol>
28	<b>Printer locked state</b>	<p>プリンタがロック</p> <p>1.プリンタが特定のPCで使用するように設定されている</p> <p>別のPCでプリンタを使用する場合、このエラーメッセージが表示される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.設定したPCを使用する必要がある。別PCでプリンタを使用する場合はロックを解除し使用。</li> <li>2.エラー番号を確認してコールセンターへ連絡</li> </ol>
29	<b>Printer spool full state</b>	<p>印刷スプールがいっぱい</p> <p>1.スプーラ内に3つ以上プリントデータがある場合。</p> <p>2.主要な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 印刷データ異常</li> <li>- USBポートの故障</li> <li>- USBケーブルの故障</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.USBケーブルとポート (PCとプリンタ) の接続状態を確認してください - 接続状態が正しい場合は、USBケーブルとテストを交換してください。</li> <li>2. PCの動作状態を確認してください。 - PCの印刷ポートを変更してとテストしてください。 - プリンタドライバを削除し、再インストールしてください。</li> <li>3.アプリケーションの動作状態を確認してください。</li> </ol>

## 5. プリンターの設定

### 5-1 リボンの装着準備

印刷前にカード、リボン、クリーニングローラーを準備します。

\*GRASYS130R（リライトプリンター）の場合はリボンを使用しませんので次のクリーニングローラーの項へスキップしてください

5-1-1 プリンターの電源を切ります

背面下部の電源スイッチをオフにしてください。



5-1-2 トップカバーオープンボタンを押してトップカバーを開きます



5-1-3 空のリボンカートリッジを取り出します

カートリッジをさかまにして、①のクリーニングローラー取り付け部が左になるように置きます。インクリボンの太い軸が左側、フィルムが上を通る状態で置きます。

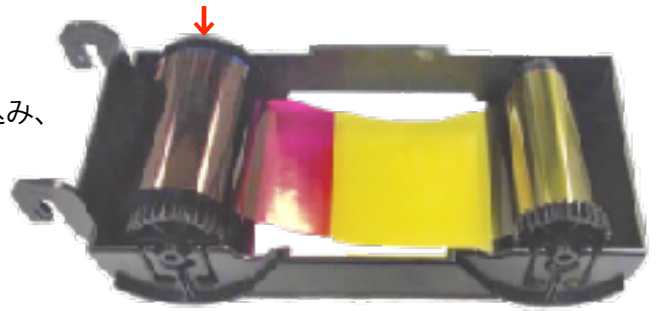


#### 5-1-4 リボンをリボンカートリッジへ装着します

はじめに太い供給側の軸を装着します。

円形の白い板がついている側の軸を左側奥の穴へ差し込み、手前のギアのついた軸を上から手前のスリットに差し込みます。巻き取り側も同じように奥右側の穴へ軸を差し込んでから手前のギア付きの軸を上から差し込みます

(注意：リボンがたるんでいる場合はエラー発生の要因となります)



#### 5-1-5 使い捨てクリーニングローラーをリボンカートリッジへ装着します

インクリボンを装着したカートリッジを逆さまにします。

(太い軸は左側)

カートリッジの左側にクリーニングローラーの軸を差し込むスリットがありますので上からクリーニングローラーの軸を差し込みます。



## 5-2 クリーニングローラー

#### 5-2-1 クリーニングローラーの保護カバーの矢印マークの方向へ引き剥がします。

クリーニングローラーの表面は粘着性の高い素材でできています。保護カバーをはがした後はローラー表面に指紋やホコリが付着しないようにしてください。

(注意：保護シートは必ず引き剥がして使用してください、保護シートがついたままの状態ではクリーニングローラーとして機能しません)



#### 5-2-2 カートリッジにリボンとクリーニングローラーを装着

後、プリンターにインクカートリッジを装填します

巻き取り側が奥、クリーニングローラー側が手前になります



### 5-2-3 トップカバーを閉じる

(トップカバーが閉じられない場合はインクカートリッジを一旦持ち上げてセットしなおしてみます。)



## 5-3 印刷用のカードのセット

### 5-3-1 カードの厚さ

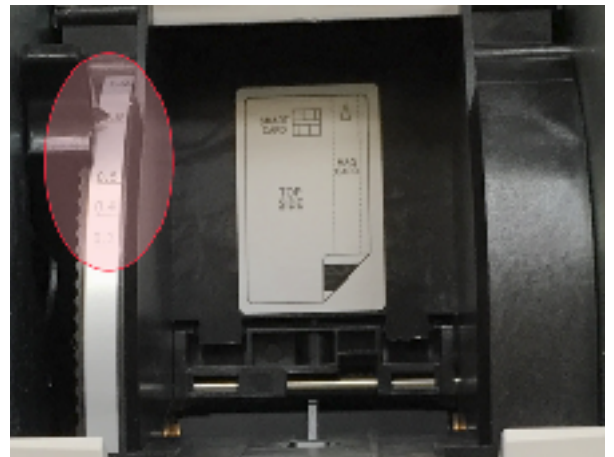
#### カード厚みの設定 (ID150)

ホッパーカバーを開き、厚み調整レバーを使用するカードに合わせて調整します。

標準の0.78mmのカードの場合は0.8の一段下に合わせます

薄手の0.48mmのカードの場合は0.5の一段下似あわせ

※標準の設定で薄手のカードを使用すると、カードが重なったままプリンタに挿入され、エラー発生の要因となりますのでカードに合わせてセットしましょう。

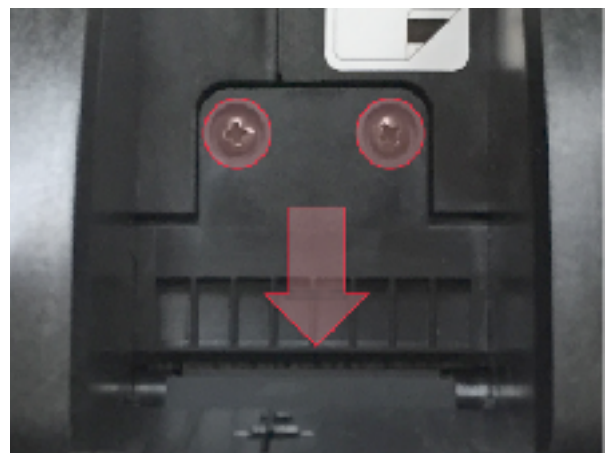


#### ※ID130を利用している場合

標準の状態は0.76mmに設定されています。

0.5mm以下の薄手のカードを使用する場合は重なったまま重送されてしまうことがありますので下記の方法で調整して下さい。

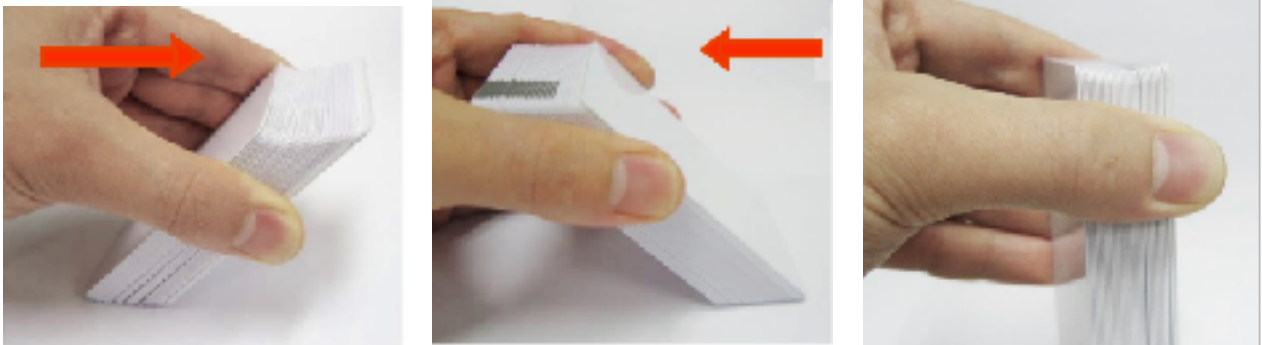
- ・カード挿入口上にある2つのネジを緩めると、ネジで押さえているガイド板が下にずれます。
- ・挿入口の手前側にあるローラーを手で回し、平らな面を上にして挿入口にカードが少し差し込まれている状態でセットしてガイド板のネジを締め直して下さい。



### 5-3-2 カードを揃える

重ねたカードを前後に45度傾けて個々のカードを引き離し、カード同士の密着を避けます。作業後は重ねたカードを垂直に立て揃えておきます。

(静電気が溜まっていたり、水分の付着などにより、カードが密着すると重走などのエラーの原因になります。カードをホッパーに入れる前に個々のカードを分離しておきましょう。この時、指紋に注意してください。カード表面に指紋などが付着していると印刷品質に影響します)



### 5-3-3 ホッパーにカードをセット

ホッパーにカードをセットして、ホッパーカバーを閉じます  
カードは挿入口のローラーに乗るようセットして下さい



### 5-3-5 カード挿入の場合

カードを一枚ずつ入れる場合は下図のようにカードの端を指で持って挿入します。



### 5-4 印刷後のカードの排出

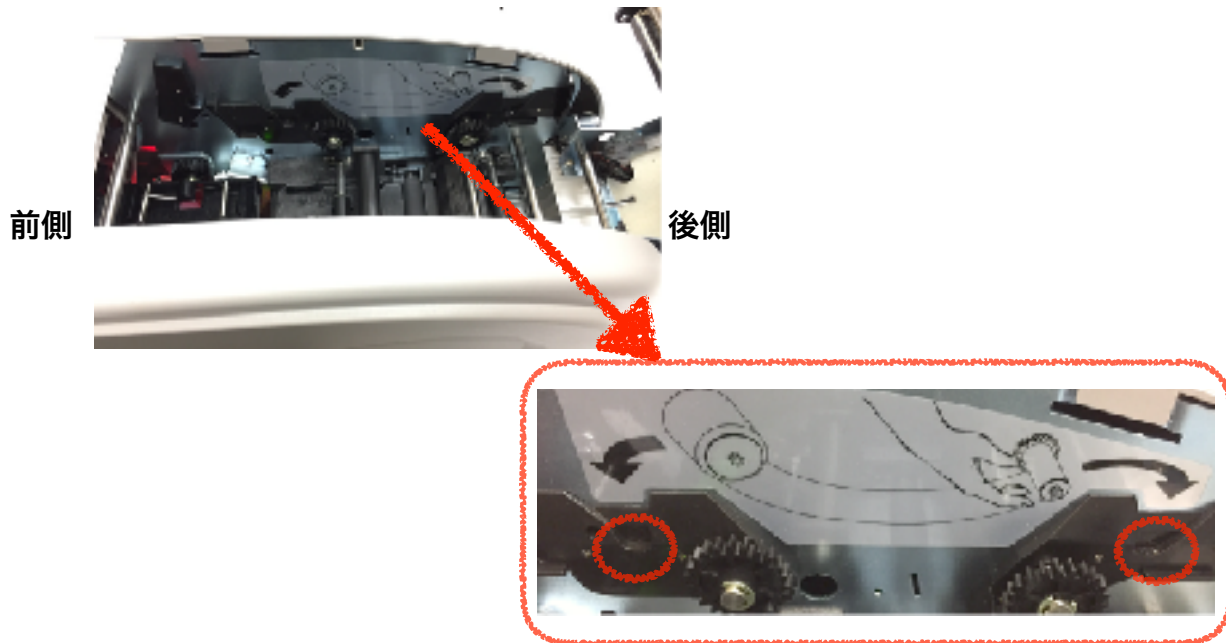
印刷済みカードはプリンタ前面下部のスタッカー部に排出されます。

## 6. ID150L ラミネータ設定

### 6-1 ラミネータフィルムの取り付け

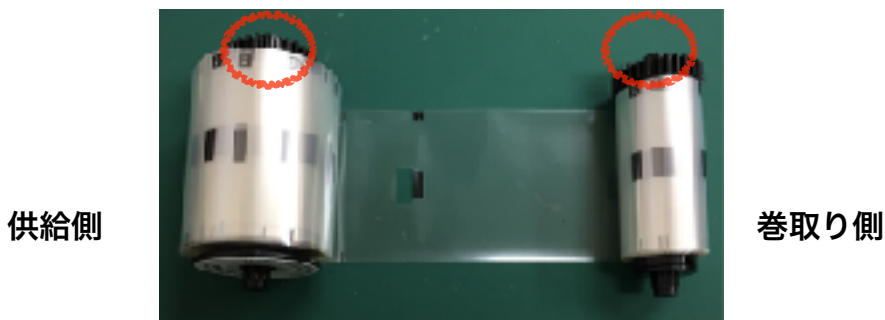
(1) ラミネータのトップカバーを開きます。

(2) 内部の側面に下記のセット図が貼られています、赤い丸印部分にフィルムの軸が収まります。



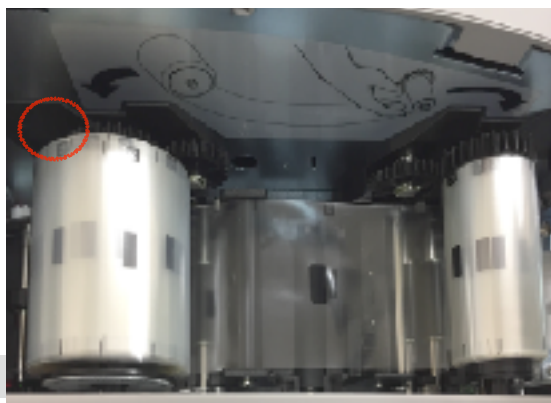
(3) フィルムを箱から取り出して下図のように置きます。

ギアが向こう側、白い円盤状の部分が左手前になります。軸と軸の間を10cm程度広げておきます



(4) 両手を使い、そのまま持ち上げてプリンタ内部の図の矢印部分にフィルムの軸が収まるよう、上からフィルムを置きます。この時、下図の赤丸部分に軸をセットしないようご注意ください。

\*この場合、トップカバーを閉じることができません。



### 6-2 ラ

ラミネー

### ミネータの設定

タの設定はGRASYSプリンタドライバー、

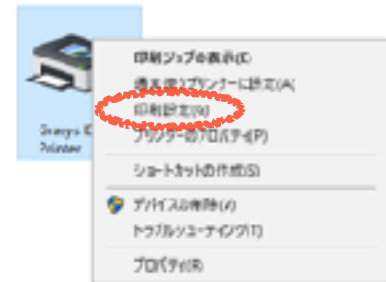
GRASYSデザイン、どちらからでも可能です。

## 6-2-1 GRASYSプリンタドライバーから設定

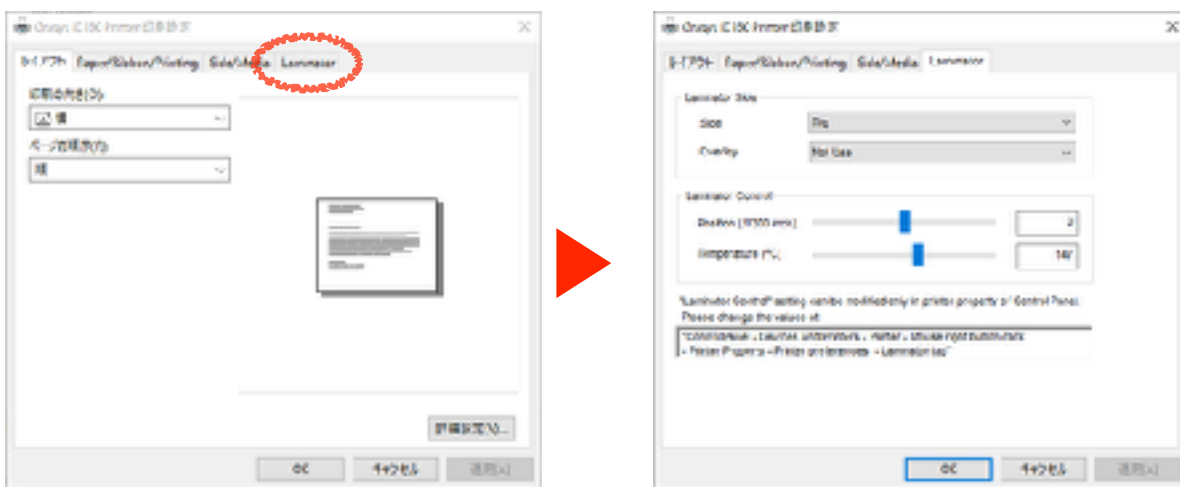
(1) ウィンドウズキーを押下、またはウィンドウズアイコンを右クリックしてコントロールパネルを選択します。

(2) デバイスとプリンタをクリックします。

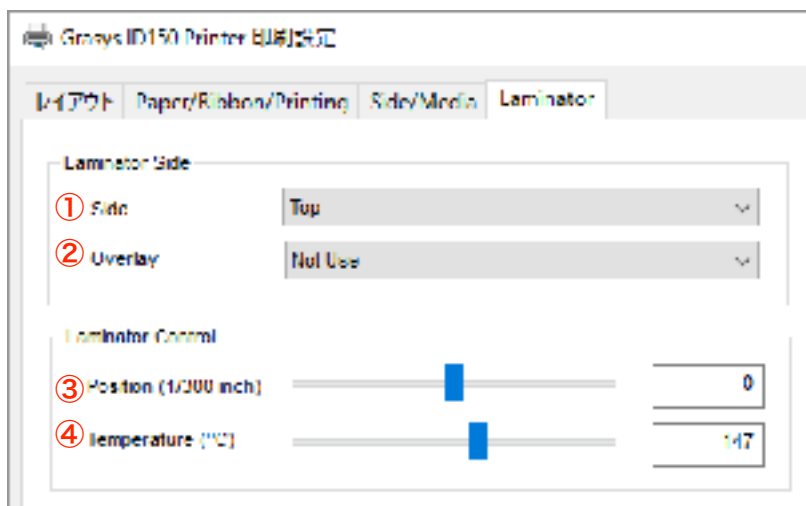
(3) GRASYSプリンタのアイコンを右クリックして、印刷設定を選択します。



(4) Laminator タブをクリックします。



(5) ラミネータの設定を行います



① **Side** : ラミネートする面を選択 Not Use : 使用しない、Top : 表面、Bottom : 裏面、Both : 両面

② **Overlay** : オーバーレイ使用する、しないを選択 (デフォルトはNot Use : 使用しない)

③ **Position (1/300 inch)** : 位置、ラミネートの開始位置を-50から50の間で調整可能です。数値が増加するとラミネート位置がスタート位置側に近づきます。(12で約1 mm)

④ **Temperature(°C)** : 温度、ラミネート温度100°Cから180°Cの間で調整可能です。

⑤ ラミネータのデフォルト設定はオモテ面印刷でオモテ面ラミネートです。

⑥ 設定後はOKボタンをクリックして終了します。

## 6-2-2 GRASYSデザインソフトから設定

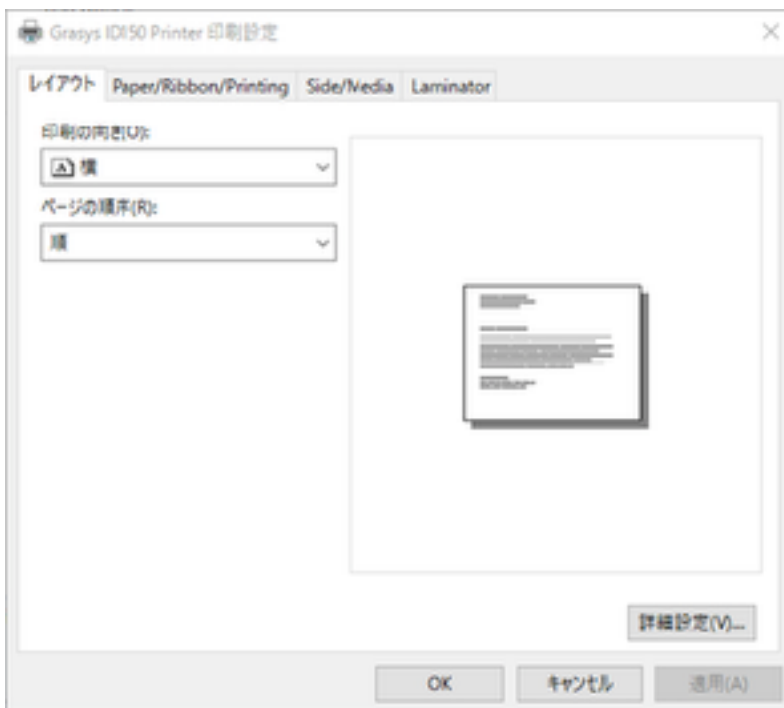
ファイルメニュー→プリンタ設定を選択。



プリンタの設定ウインドウのプロパティをクリックします。



Laminaterタブをクリックしてラミネーター設定を行います。



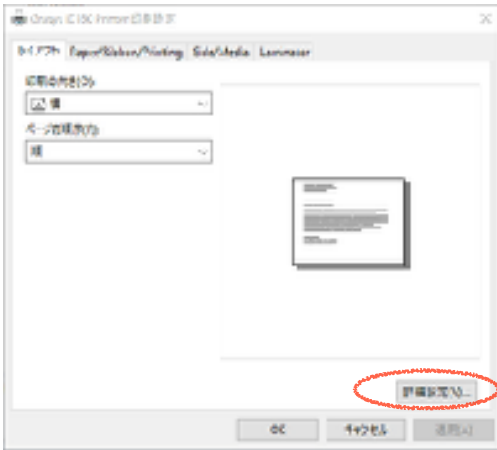
設定はドライバーからの設定と同様です。



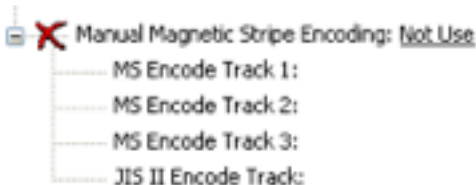
## 6-3 その他の設定

### 6-3-1 ラミネートだけを行う

ラミネート設定後は印刷指示でラミネートのみを行うことができます、デザインが片面の場合でもラミネート設定が両面の場合は両面がラミネートされます。  
上記の印刷設定で右下にある詳細設定をクリックします。



詳細オプションが表示されますので、スクロールして Manual Magnetic Stripe Encodingの項目にある Not Use をクリックして デフォルトの Not Use から Encoding or Laminating only に変更し、OK ボタンをクリックして保存します。



この状態でGRASYSソフトから印刷を行うとラミネートだけが実施されます。

\*終了後はドライバーの Manual Magnetic Stripe Encoding の項目を Not Use に戻してください

#### \*磁気やICオプションが搭載されている場合

磁気やICのオプションが搭載されている場合、GRASYSソフトに磁気やIC用のデータがあるとラミネートと一緒にエンコードしてしまいますので、ラミネートだけ実施の場合は新規デザインを作成、白紙の状態の上記の Encoding or Laminating only に設定後、ホッパーにラミネートしたいカードをセットします。必要な枚数を印刷指示すると自動的にラミネートのみを実施します。この時、ラミネートする面はドライバの設定に従って実施されます、例えばデザインが片面の白紙状態でもドライバでラミネートが両面に設定されている場合は両面がラミネートされます。

\*終了後はドライバーの Manual Magnetic Stripe Encoding の項目を Not Use に戻してください

### 6-3-2 Manual Magnetic Stripe Encodingの項目

**Not Use** : デフォルト、通常使用時は Not Use に設定します。

**Printing & Laminating** : 手動で印刷とラミネートを実施する場合

**Encoding or Laminating only** : エンコードまたはラミネートのみを実施する場合

\*エンコード : 磁気やICカード用のオプションが搭載されている場合、データを符号化して磁気ストライプやICチップに書き込むこと

## 7. ドライバーのインストール (Windows 7)

### 7-1 プリンタの電源

電源をオフ、リボンをセットしてUSBケーブルをPCに接続しておきます。



7-2 インストールCDをドライブにセットします。

### 7-3 インストールメニュー

メニューが起動されたら“ドライバーインストール”をクリックします。

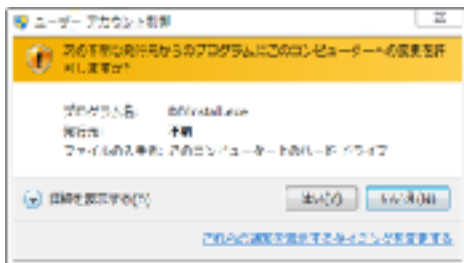


\*メニューが表示されない場合

CDのInstallフォルダ内にあるAutoRunをダブルクリックするとメニューが表示されます。

名前	更新日時	種類
AutoRun	2015/09/11 13:35	アプリケーション
files	2015/09/11 13:35	構成設定
GrasysApplications-Setup	2015/09/11 13:35	アプリケーション
icon	2015/09/11 13:35	アイコン

\*セキュリティの警告画面が出る場合は実行ボタンをクリックしてインストール続けます。

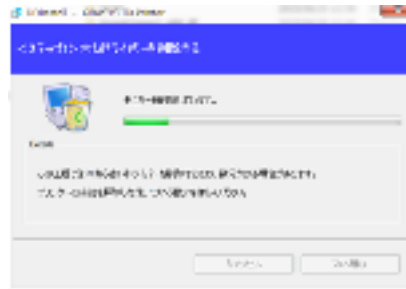


### 7-4 <ステップ 1>

古いドライバーを削除する画面

次へ進むをクリックします。

すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は自動的に削除されますが、少し時間を要しますので次のステップまでお待ち下さい。



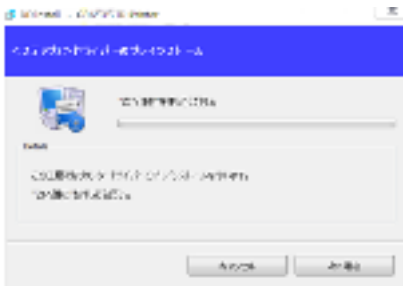
## 7-5 ドライバーインストール

### Windows7へのプリンタドライバーインストール

次へ進むをクリックします。

## 7-6 <ステップ 2>

### ドライバーのプレインストール



次へ進むをクリックします。

ドライバーのプレインストールが開始されます。

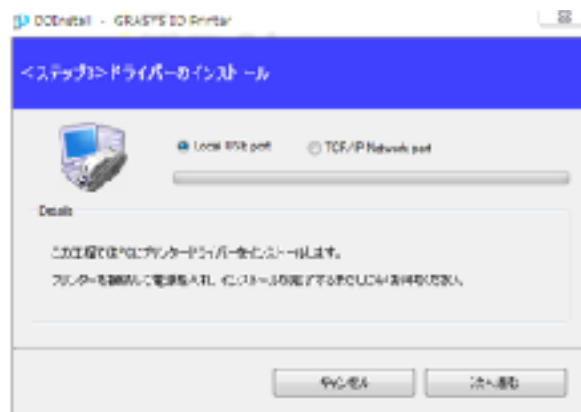
Windowsセキュリティ画面が表示される場合

このドライバーソフトウェアをインストールしますをクリックします。



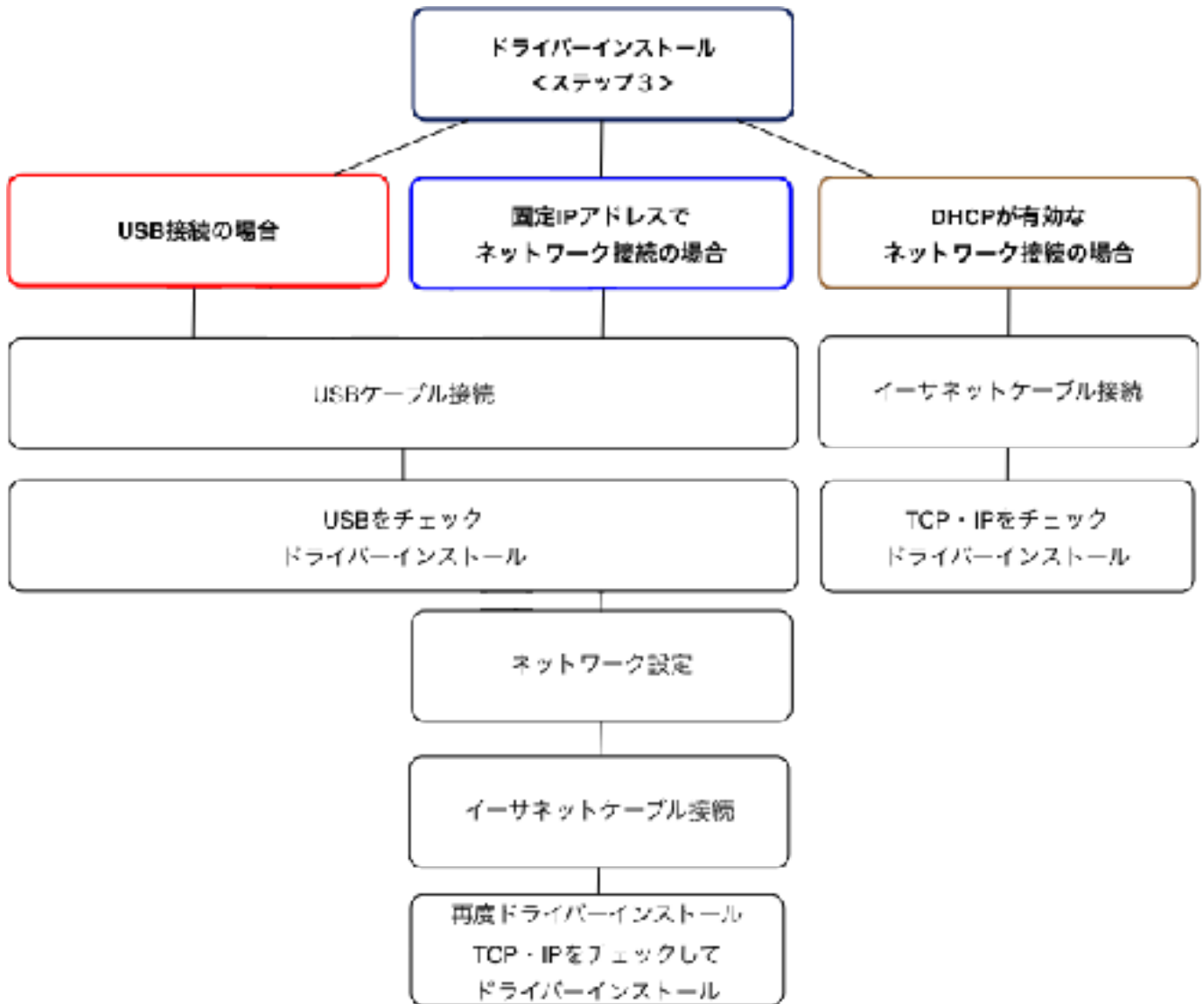
## 7-7 <ステップ 3>

### ドライバーのインストール



ドライバのインストールはプリンタの接続方法により手順が異なります。

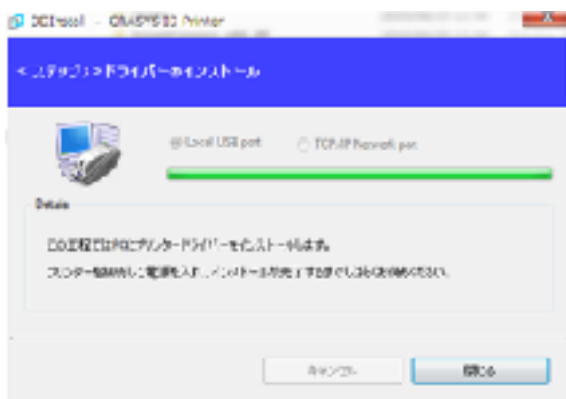
## \*USB・ネットワーク接続時のドライバーインストールの違い



## ●USB接続の場合（または固定IPアドレスのネットワーク接続の場合）

プリンターの電源をオンにしてプリンターとPCをUSBケーブルで接続し、Local USB Portのチェックを確認して次へ進むボタンをクリックします。

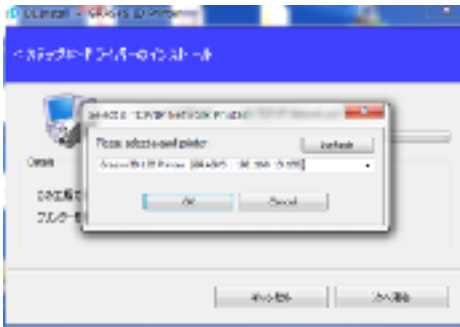
※ネットワーク接続にはオプションのネットワークモジュールの組込が必要です



オプションのネットワークボード付きのプリンターで固定IPアドレスを使用したい場合は初めにUSBにチェックを入れ、次へ進むボタンをクリックしてドライバーのインストールを進めます。ネットワー



クボードはデフォルト設定がDHCP対応設定となっていますので、はじめにUSBで接続し専用ソフトでプリンターに固定IPアドレスを設定します。

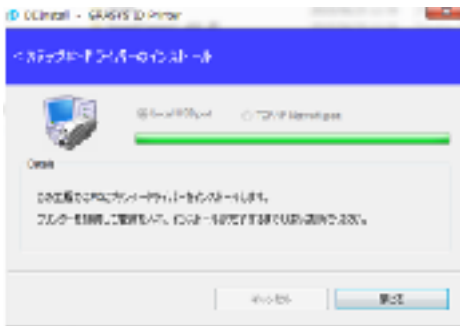


## ●TCP/IP接続の場合（DHCPが有効なネットワークの場合）

プリンターの電源をオンにしてプリンターにネットワークケーブルを接続し、Local TCP/IP Network port\*をチェックすると、プリンタの選択画面が表示されます。

Refreshボタンをクリックして更新するとGRASYSプリンタが表示されますので、選択してOKをクリックします。

次へ進むボタンをクリックしてください



\*TCP/IP接続にはオプションのネットワークボードをインストールしている必要があります。

ドライバーのインストールが完了すると閉じるボタンが有効になりますのでクリックして閉じてください。

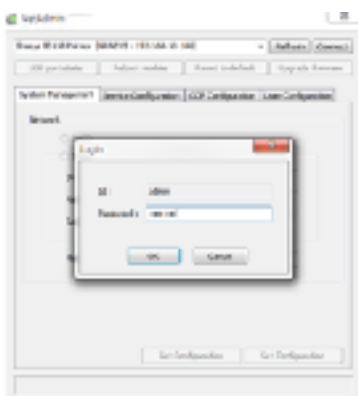
## 固定IPアドレスを設定する場合

固定IPアドレスでのネットワーク接続を使用する場合、あらかじめUSB接続したプリンタにPアドレスを設定する必要があります。

あらかじめ、付与する固定IPアドレス、ネットマスク、その他のネットワーク情報を調べておく必要がありますのでシステム管理者様等へお問い合わせください。

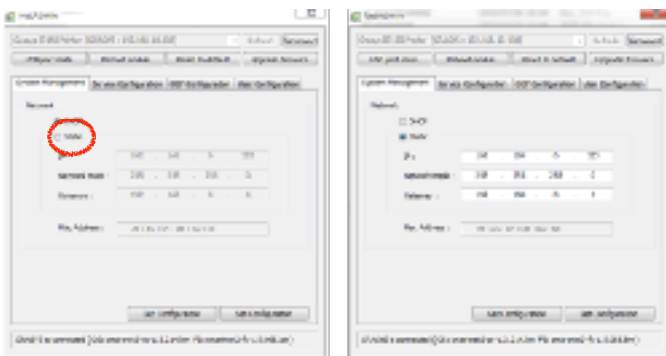
インストールCDのUtilityフォルダ内にあるNetAdminをダブルクリックして起動します。

画面上部のセレクトにGRASYSプリンタが表示されている場合はConnectボタンをクリックします。表示されていない場合はRefreshボタンをクリックするとセレクトのリストが更新されます。

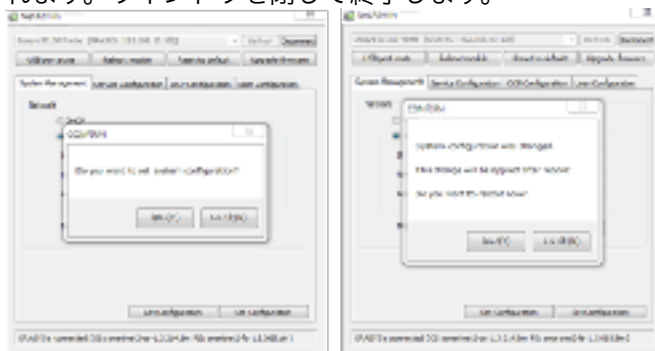


認証画面が表示されますので、ユーザー admin パスワード adminを入力してOKをクリックします。

プリンタに接続できると画面下部の機能が有効になります。デフォルトで表示されているSystem ManagementタブのStaticにチェックを入れると、IP、ネットワークマスク、ゲートウェイを入力して設定することができます。



設定が完了したら、下部のSet Configurationボタンを押すと確認画面が表示されますのではいをクリック、続いてプリンタ再起動の確認が表示されますのではいをクリックすると、設定がプリンタに適用され再起動されます。ウィンドウを閉じて終了します。



この後、ネットワーク用に再度ドライバーをインストールする必要がありますので、インストールメニュー画面でドライバインストールをクリックしてドライバーのインストールを進め、STEP 3ドライバーのインストール画面でTCP/IPにチェックを入れ、設定完了したGRASYSプリンタを選択してドライバーのインストールを行います。

## 参考 ドライバーの手動インストール

### 手動インストール手順

プリンタにカードとリボンをセットして電源をONにして前面のLCD表示がGRASYS SYSTEM READYの状態  
でPCに接続します。(130の場合は青ランプ点灯)

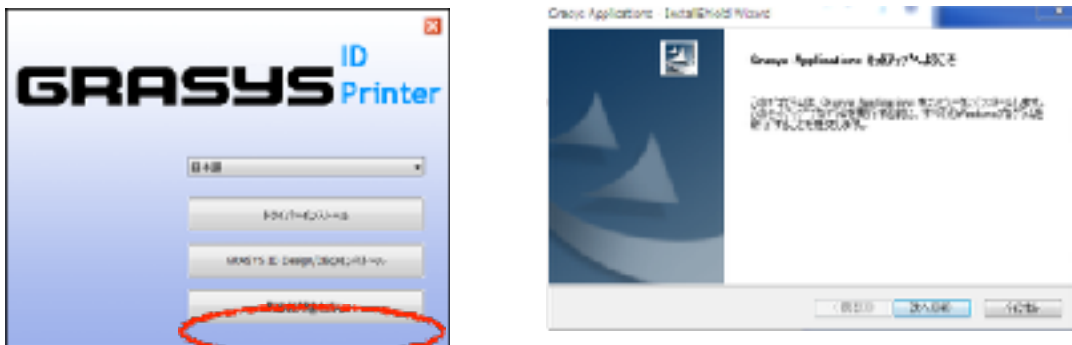
1. コントロールパネル>デバイスとプリンタ>プリンタの追加をクリック
2. 自動で認識されない場合、プリンタが一覧にない場合をクリック
3. 画面遷移後、ローカルプリンター、または・・・にチェックを入れ、次へをクリック
4. 画面遷移後、既存のポートを使用にチェックを入れ、USBXXX (USBの仮想プリンタポート) を選択して次へをクリック
5. 画面遷移後、  
ケース1：左欄にPlaza Create Co.,Ltdがあれば選択、右欄のプリンタを選択して次へをクリック、6へ  
ケース2：左欄にPlaza Create Co.,Ltdが無い場合、ディスク使用をクリック、10へ
6. 画面遷移後、現在インストールされているドライバを使うにチェックを入れ、次へをクリック
7. 画面遷移後、プリンタ名を確認し、次へをクリック
8. このプリンタを共有しないにチェックを入れ次へをクリック
9. テストページの印刷をクリック、確認して完了です。

10. ポップアップ画面、参照をクリックしてインストールCDのGrasysフォルダ内のGrasys.infを選択します。  
OKをクリックして。上記の6へ進みます。

## 8. GRASYSソフトウェアのインストール

### 8-1 インストールメニュー

インストールメニュー画面のGrasys ID Design/DBのインストールをクリックします。



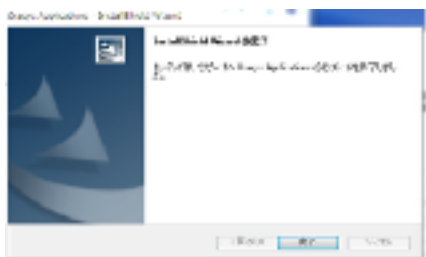
あらかじめソフトウェアがインストールされている場合、はじめに削除画面へ遷移します。画面の指示に従い削除実施後に再度メニュー画面のGrasys ID Design/DBのインストールをクリックします。



ソフトウェアがインストールされていない場合はインストール画面へ遷移します。規約を確認してインストールを進めてください。



インストールが完了すると終了画面が表示されますので完了ボタンをクリックして終了です。デスクトップにインストールされたGRASYS ID DesignとGRASYS ID DBのアイコンができています



## 9. テストページの印刷

### 9-1 準備

未使用のカードをプリンターのホッパーにセットしてください。

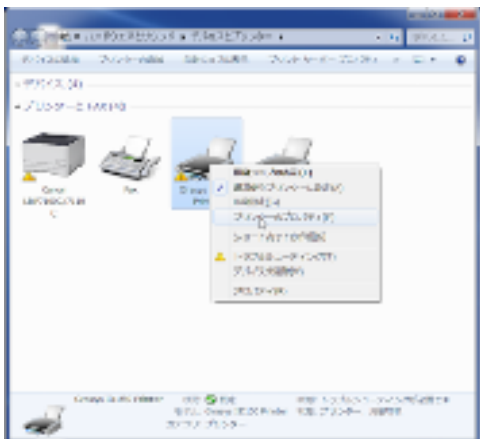
あらかじめプリンターにYMCKOインクをセットしておきます。

※他のインク、例えば黒インクを使用するとカラーのテスト印刷は出来ませんが、白黒で印刷の可否確認を行うことができます。

## 9-2 デバイスとプリンター

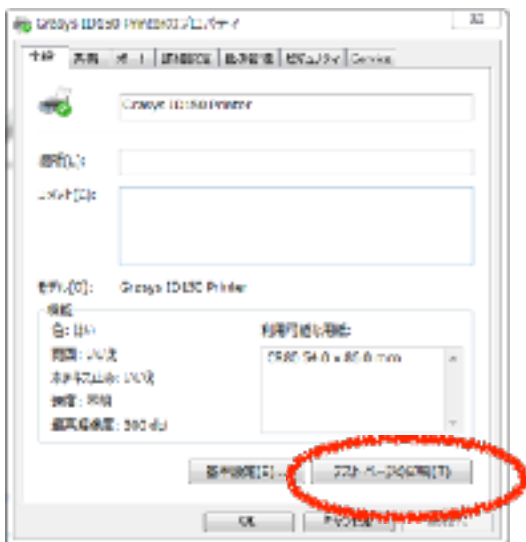
PCのタスクバーのウィンドウズボタンからデバイスとプリンターを選択します。

Grasys ID150(ID130)のアイコンを右クリックするとメニューが表示されますので、プリンターのプロパティを選択します。



## 9-3 テストページの印刷

Grasys ID150 (ID130) Printerのプロパティ画面の右下にあるテストページの印刷をクリックするとテストページが印刷されますので確認して下さい。



## 9-3 テストページの印刷

Grasys ID150 (ID130) Printerのプロパティ画面の右下にあるテストページの印刷をクリックするとテストページが印刷されますので確認して下さい。



## 10. プリンタのメンテナンス

プリンタを長く愛用いただくためのメンテナンスについて説明します。プリンタの内部が汚れていると、カードにごみやホコリが付きやすくなり印刷品質に影響が出る他、機械自体の寿命にも影響が出る恐れがあります。常に良好な状態で印刷できるよう、本機を定期的にご清掃ください。

### 10-1 通常のお手入れ

ホコリをためないように、エアダスターなどでこまめにご清掃ください。

#### 10-1-1 クリーニングローラーの交換

インクリボンに使い捨てクリーニングローラーが1本付属しています。インクリボンの交換の際には必ずクリーニングローラーも同時に交換してください。使用環境によって消耗が異なりますので印刷品質に変化が見えた際は、インクリボン交換よりも前にクリーニングローラーを交換ください。特に単色リボンをお使いの際は早目の交換を推奨します。

#### 10-1-2 クリーニングカードで清掃

インクリボンを1本使い終わる毎に、専用クリーニングカードを使用してプリンタ内部のローラーを清掃してください。

プリンタのトップカバーを開き、インクカートリッジを取り出します。

#### 10-1-3 ホッパー部ローラーの清掃

##### ・ID150シリーズの場合

クリーニングカードの端を持ったまま、カード挿入口にカードを1cm程度差し込みます。左右いずれかのLEDボタンを押すとローラーが回りますので、5秒程度カードを押し当てたままローラーを回して汚れを拭き取ります。

##### ・ID130シリーズの場合

インストールCD内のUtilityフォルダにあるDiagnostics.exeを起動します。表示されたウィンドウの左下にあるHopperの◀、または▶をクリックするとホッパー部のローラーが回り続けます。

\*終了する場合はプリンタの電源をOFFにしてください。



### 10-2 内部ローラーの清掃

#### 10-2-1 プリントローラー

インクカートリッジを外し、クリーニングカードの端を持ったまま中央部にあるプリントローラーの後ろ側にカードのキレイな面を1cm程度差し込みます。

##### \*画像上がプリンタ奥側です

ローラーの一方の端（右図では上側）までカードを押し当て、そのままの

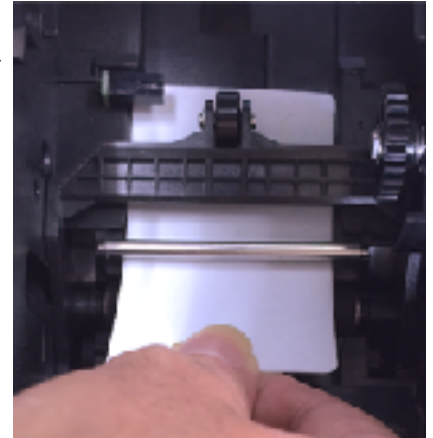


状態でLEDボタンを押し、5秒程度ローラーを回します、その後ローラーのもう一方の端（下図では下側）までカードを押し当ててLEDボタン（ID150は左側ボタン）を押し、5秒程度ローラーを回して下さい。

汚れがひどい場合はカードの面を変えて繰り返して下さい。

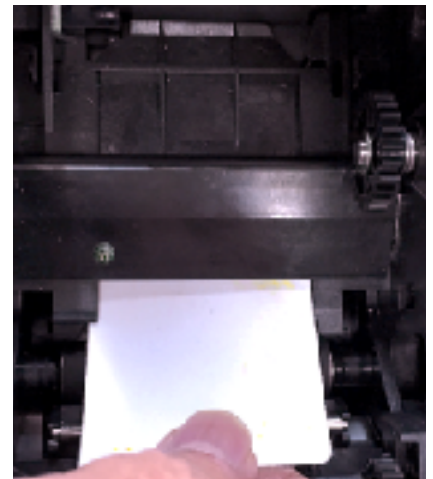
### 10-2-2 ICローラー

プリントローラー後ろのシルバーの棒の下からカードを差し込み、小さなローラーの下に挟まるようにします。カードを押さえたまま、LEDボタン（ID150は左側ボタン）を押し、5秒程度ローラーを回します。



### 10-2-3 MSローラーの清掃

プリントローラーの手前の隙間からカードを3cm程度差し込み、カードを押さえたままLEDボタン（ID150は左側ボタン）を押し、ローラーを5秒程度回します。



### 10-2-4 クリーニングローラーの清掃

オレンジ色のクリーニングローラーを取外します。両側のプラスチック部分で軸を押さえていますので片側にローラーを押すと反対側の軸が外れます。まるごと水洗いし、乾燥後に再度取付けます、片側の軸をプラスチックの押さえ部分に差し込み、押し込みながら反対側の軸を差し込みます。取り付け後はローラーを手で前後に押し、軸が外れないか確認しましょう。

※取外し・取付けの際、強く押しすぎてプラスチック部分を破損しないよう注意してください

### 10-2-5 固定クリーニングローラーの清掃

オレンジ色のクリーニングローラーを取り外した際、その下にあるローラーです。上からカードを押し当てLEDボタン（ID150は左側ボタン）を押し、5秒程度ローラーを回して下さい



### 10-2-6 ヘッドの清掃

電源をOFFにしてから、トップカバー裏にあるヘッドの金属部分表面を専用のクリーニングペンのフェルト部分でなぞります。



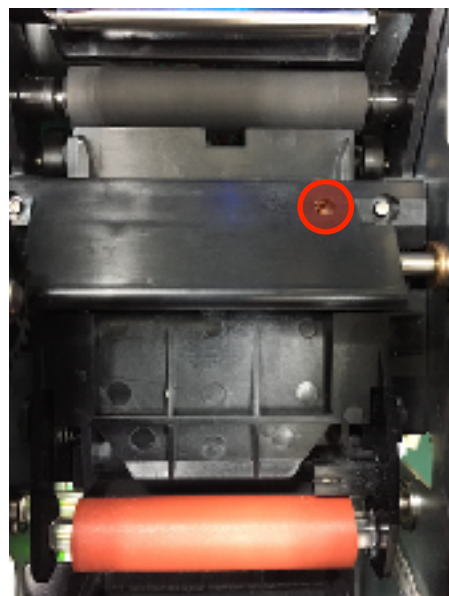
### 10-3-6 カラーセンサーの清掃 1

ヘッド右上にあるプラスチックのレンズ部分の表面を綿棒やティッシュペーパーで拭き取ります。



### 10-3-7 カラーセンサーの清掃 2

プリントローラー近くのLED発光部のホコリをブローワーなどで吹き飛ばします。



# 11. ID130仕様

プリント	ID130	ID130R
プリント方式	昇華転写 / レジン熱溶融	ダイレクトサーマルプリント & 消去
印刷エリア	エッジトゥエッジ	
解像度	300 dpi	
両面 プリント	ID130Wまたはオプション	-
<b>カード</b>		
カード搬送	自動	
カードサイズ	ISO CR-80 (54mm x 86mm )	
カード厚	0.38mm ~ 0.76mm	
カード種	PVC, コンポジットPVC, PET	リライト素材カード
<b>印刷速度 (最大)</b>		
モノクロ	6 秒 (600 カード/時)	20 秒 (180 カード/時)消去/書込
YMCKO	30 秒 (120 カード/時)	-
YMCKOK	-	-
<b>容量</b>		
ホッパー	80 カード	
スタッカー	25 カード	
モノクロ リボン	1200 カード/本	-
カラー リボン	YMCKO 250 カード/本	-
<b>システム</b>		
メモリ	64MB	
コントロール	1 LED ボタン	1 LED ボタン
対応OS	Microsoft Windows Vista(32/64bit), 7(32/64bit) ,8/8.1(32/64bit),10(32/64bit)	
通信	USB, イーサネット(オプション)	
電源	(AC 100/220V, 50-60Hz)	
消費電力	45W	
使用温度/湿度	15~35°C / 20~80%	
<b>大きさ</b>		
大きさ(W x L x H)	172mm x 377mm x 190mm	172mm x 377mm x 190mm
重量	3.4Kg	3.1Kg
<b>エンコード</b>		
磁気書き込み	ID130Mまたはオプション ISO7811 (Track I,II,III Read / Write), JISII, HiCo / LoCo	-
接触型ICカード	-	-
非接触型ICカード	ID130RFまたはオプション MiFare, DesFire, ISO 14443(type A/B), ISO 15693, iClass, Felica-LiteS	-

## 12. ID150仕様

プリント	ID150	ID150W
プリント方式	昇華転写 / レジン熱溶融	
印刷エリア	エッジトゥエッジ	
解像度	300 dpi	
両面 プリント	オプション	はい
<b>カード</b>		
カード搬送	自動	
カードサイズ	ISO CR-80 (54mm x 86mm )	
カード厚	0.38mm ~ 1.0mm	
カード種	PVC, コンポジットPVC, PET	
<b>印刷速度 (最大)</b>		
モノクロ	5 秒 (720 カード/時)	
YMCKO	22 秒 (164 カード/時)	
YMCKOK	-	30 秒 (120 カード/時)
<b>容量</b>		
ホッパー	100 カード	
スタッカー	40 カード	
モノクロ リボン	1200 カード/本	
カラー リボン	YMCKO 250 カード/本, YMCKOK 200 カード/本	
<b>システム</b>		
メモリ	64MB	
コントロール	LCD 表示 / 2 LED ボタン	
対応OS	Microsoft Windows Vista(32/64bit), 7(32/64bit), 8/8.1(32/64bit), 10(32/64bit)	
通信	USB, イーサネット(オプション)	
電源	(AC 100/220V, 50~60Hz)	
消費電力	45W	
使用温度/湿度	15~35°C / 20~80%	
<b>大きさ</b>		
大きさ(W x L x H)	170mm x 420mm x 195mm	170mm x 510mm x 195mm
重量	4.5Kg	5.5Kg
<b>エンコード</b>		
磁気書き込み	ISO7811 (Track I,II,III Read / Write), JISII, HiCo / LoCo	
接触型ICカード	ISO7816 (ID-1), SIM Type - ISO7816 (ID-000)	
非接触型ICカード	MiFare, DesFire, ISO 14443(type A/B), ISO 15693, iClass,Felica-LiteS	

## 13. 共通仕様

本製品に含まれるRFIDリーダー（GRASYS RFID）は電波法に規定する誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けています。

総務省 型式指定番号 第AC-16005号

### 使用上の注意

本製品は電波を使用した無線設備のため、設置場所や操作にあたっては医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。

## 14. ユーティリティソフト

GRASYS IDカードプリンターは工場出荷時に適正な状態で設定されていますが、同梱CDに収められているユーティリティソフトウェアを使用して印刷や機能のチェックなどをおこなうことができます。

### 14-1 Card Printer Setup

Card Printer Setupソフトで印刷位置と印刷濃度を調整する  
下記の調整が可能です。

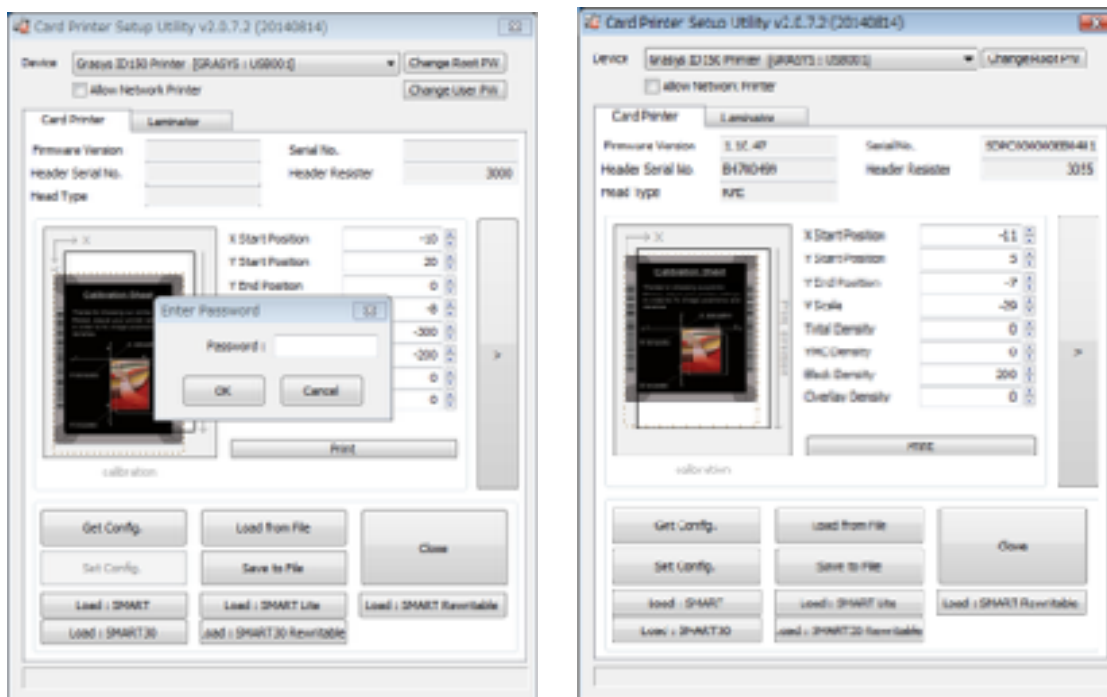
プリント位置：スタート位置と終了位置

プリント濃度：カラー、黒、オーバーレイのプリント濃度

Card Printer Setupソフトウェアを起動する

CD内、UtilitiesフォルダのCard Printer Setupをダブルクリックして起動します

起動後、パスワードの入力画面が表示されますが、そのままOKをクリックします。



#### 14-1-2 Card Printer Setupの表示内容

Device：お使いのGRASYSプリンタ

Change Root PW：プリンタにパスワードを設定する際に使用します

Change User PW：プリンタにパスワードを設定する際に使用します

※サポートや修理などでパスワードが弊害になることがあります、必要な場合にのみ設定ください

Allow Network Printer：ネットワーク共有またはネットワーク接続のプリンタを設定する場合にチェックすると有効になります。

※共有の場合、接続しているPCにアカウントを持つユーザーが使用可能になります

※ネットワーク接続にはオプションのネットワークモジュールが必要です

Firmware Version：プリンターにインストールされているファームウェアのバージョン番号

Serial No.：プリンタのシリアル番号

Header Serial No.：ヘッドのシリアル番号

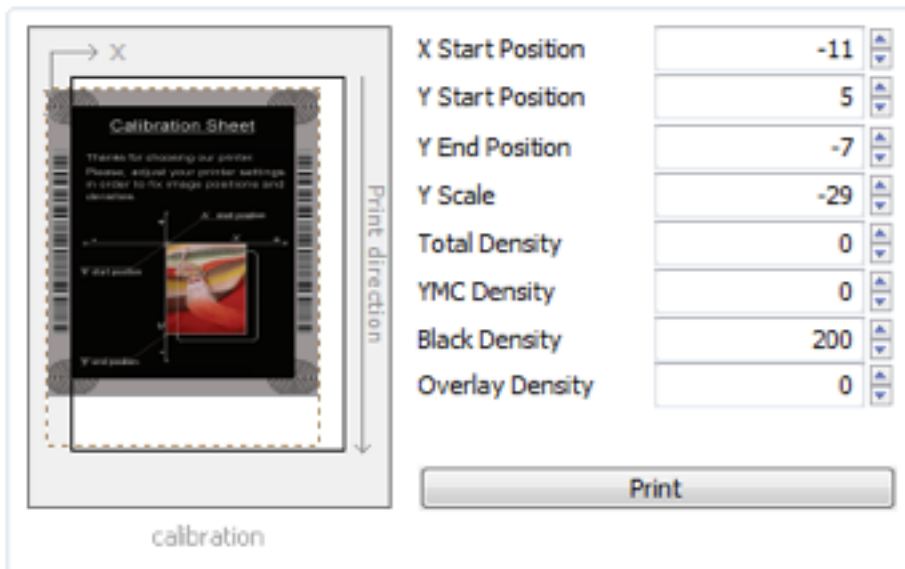
Header Register：ヘッドの登録番号

Head Type : ヘッドの種類

## 14-2 印刷の調整

本機能では最初にキャリブレーションカードを印刷し、その状態に沿って調整をおこないます。調整にはYMCKOリボンをセットしておく必要があります。

### 14-2-1 設定項目と調整可能範囲



## 14-3 調整

はじめに、Printボタンをクリックしてキャリブレーションカードを印刷します。

調整を開始する前にSave to Fileボタンをクリックして現在の設定を保存しておきます、この時、保存されるファイル名はシリアル番号になります。※保存したファイルを読み込むことで以前の状態に戻すことができます

項目	調整可能範囲	内容
X Start Position	-30~30	縦位置で横方向 (X方向) のプリント開始位置
Y Start Position	-30~30	縦位置で縦方向 (Y方向) のプリント開始位置
Y End Position	-20~20	Y方向のプリント終了位置
Y Scale	-60~60	Y方向の印刷の長さ設定
Total Density	-500~500	全体の濃度
YMC Density	-500~500	カラー部分の濃度
Black Density	-1500~1000	K (黒) の濃度
Overlay Density	-500~500	オーバーレイの濃度

キャリブレーションカードの印刷状態を見てから設定を開始します。

キャリブレーションカードは設定中のものを印刷することが出来ますが、設定中にデザインソフトから印刷し、状態を確認するにはSet Configボタンをクリックしてプリンターに設定を反映します。



## 14-4 印刷位置の調整



キャリブレーションカードの四隅の円が上端および下端から0.5mm程度離れている場合が適切な位置です。

正しく調整をするには以下の値を調整します、全て同時におこなわず、ひとつずつ調整して下さい

1. X Start Position：カードの左または右に余白がある場合に調整します。値は3から5位からはじめて下さい。
2. カードの上端から0.4～0.5mmの位置から画像の印刷が開始されるようY Start Positionの値を少しずつ調整します。
3. カードの下端から0.4～0.5mmの位置で画像の印刷が終了するようY End Positionの値を調整します。この時Y Scaleの値よりも大きな値を設定してください。
4. 4つの円が全て表示されるようY Scaleの値を設定してください。

設定を変更すると画面上の画像の位置、大きさ、画面上の背景との位置関係も変化します。

画面上では動きを大きくして設定の方向などを確認しやすくしています。設定変更時にはキャリブレーションカードを印刷して確認しながら調整を進めます。

## 14-5 濃度の調整 (Density)

インクの構成

デザインソフトでカラーパネルに設定したオブジェクトはY、M、Cのインクで表現します。

テキスト、バーコード、円等ブラックパネルに設定したオブジェクトはBlack(K)インクで印刷します  
保護用のオーバーレイはオーバーレイ用のインクで印刷します。

### 14-5-1 カラーの濃度 (YMC Density)

下図は印刷の状態です。注) キャリブレーションカードの黒い背景部分はカラーインク (YMC) を使用しています、ブラック (K) インクではないことに注意して下さい。

黒い背景部分とカラーの画像部分を目視確認します。



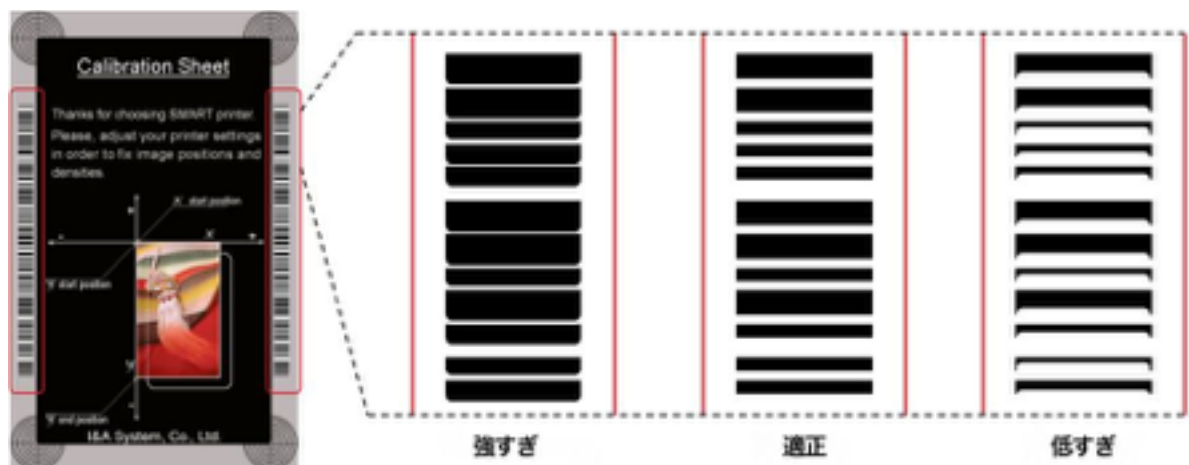
**強すぎ**：濃度を上げすぎたためインクリボンに皺が発生し、黒い背景に影響が出ている状況です。  
 YMC Densityの値を50程度下げて再度印刷し、同様の場合はさらに50下げます。  
 調整可能範囲内で繰り返してください。強すぎるとリボンが熱で切れる場合があります。

**適正**：黒い部分は黒く締まっておりカラーも鮮やかで適正な状態

**低すぎ**：背景の黒い部分がややグレーっぽくなり、カラー画像部分も色がやや薄い状態です。  
 YMC Densityの値を50程度上げて再度印刷し、同様の場合はさらに50上げます。  
 調整範囲内で繰り返してください。

#### 14-5-2 黒の濃度 (Black Density)

キャリブレーションカードの左右のバーコード状の印刷部分を確認します。



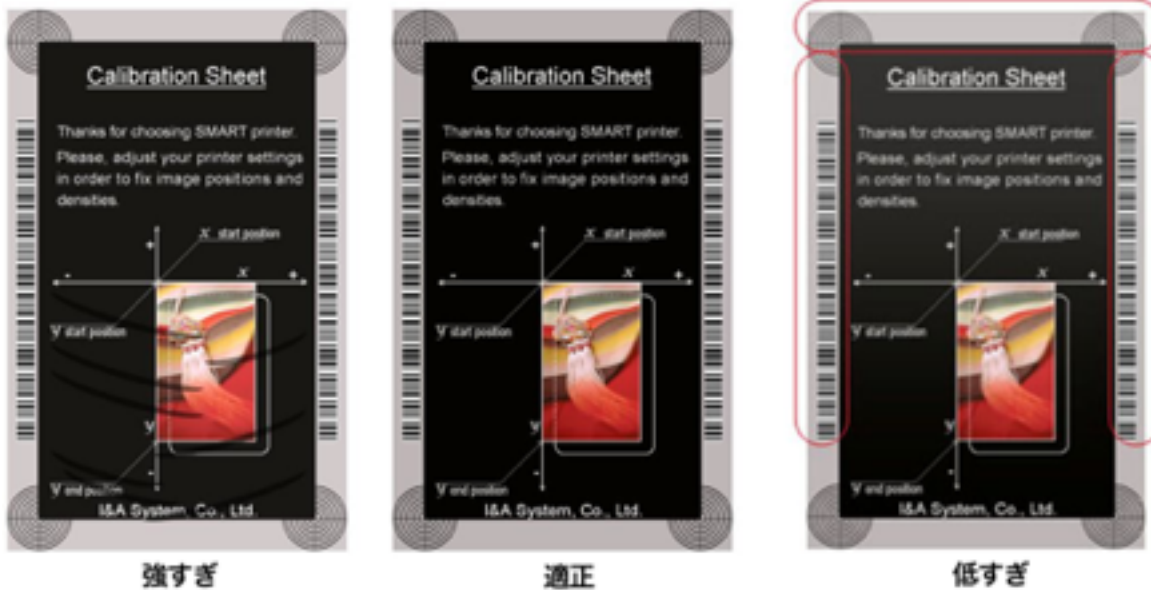
**強すぎ**：線が太くなりすぎている状態、カラーと同様に皺が発生する場合があります。  
 Black Densityを100程度下げ、再度印刷し同様の場合はさらに100下げます。  
 設定範囲内で繰り返します。

**適正**：線がくっきり分離して見える状態

**低すぎ**：線が細くなってしまった状態、四隅の円などの細い線は印刷されない場所も発生  
 Black Densityを100上げ、再度印刷し同様の場合はさらに100上げます  
 設定範囲内で繰り返します。

### 14-5-3 オーバーレイの濃度(OverLay Density)

表面保護用のオーバーレイの状態を確認します



キャリブレーションカードのバーコードと四隅の円部分で確認します。

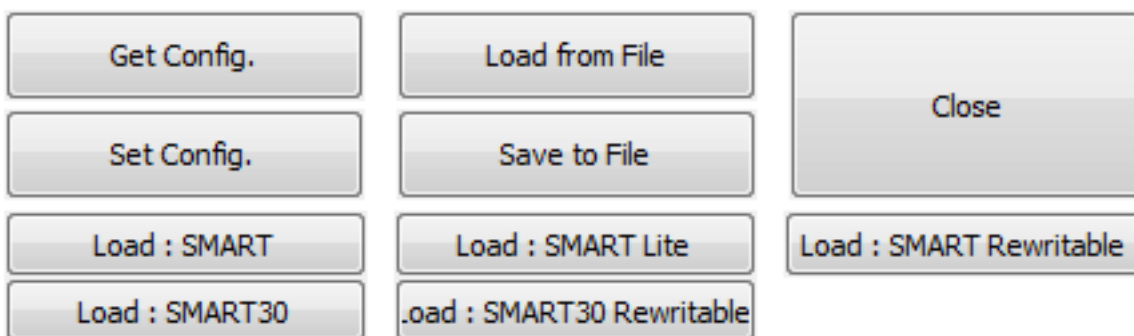
**強すぎ**：インクリボンにシワが発生したり、カード端にムラやシワが発生することがあります。  
Overlay Densityを100下げ、再度印刷し同様の状態の場合はさらに100下げます  
設定範囲内で繰り返します。

**適正**：均一に表面がコーティングされている状態

**低すぎ**：バーコードの黒線との境目、四隅の円の境目でオーバーレイが密着せず空間が発生し、白っぽく見えます。

Overlay Densityを100上げ、再度印刷し同様の場合はさらに100上げます  
設定範囲内で繰り返します。

### 14-5-4 設定の保存、読み出し、標準設定



**Get Config**：接続しているプリンターの設定内容を表示します。

通常はCard Printer Setup起動時に自動的に表示します。

設定操作中に現在の設定に戻したい場合にも使用出来ます。

**Load from File**：事前に設定を保存したファイルを読み込み、設定を戻します。

ファイル名はシリアル番号と同じ名称です。

**Set Config**：プリンタに設定を転送し反映します。設定後はもとに戻りません、事前に保存しておきましょう

**Save to File**：各調整の実施前に現在の設定をファイルに保存しておくことが出来ます。

このファイルを読み込むことで元に戻すことも可能です。できるだけ現在の設定をファイルで保存してください。

**Close**：Card Printer Setupを終了します。

### 14-5-5 デフォルト設定

以下はデフォルト設定を呼び出すためのボタンです、異なる機種の設定をプリンタへ転送した場合はプリンタが使用出来なくなる場合や故障することがあります。弊社では責任を負いかねますので、十分に注意して下記の2つのボタンのみを使用してください。

**Load : SMART** ID150用のデフォルト設定を呼び出します。

X Start Position	-10
Y Start Position	20
Y End Position	7
Y Scale	-0
Total Density	300
YMC Density	200
Black Density	0
Overlay Density	0

**Load : SMART30** ID130用のデフォルト設定を呼び出します。

X Start Position	-0
Y Start Position	30
Y End Position	-17
Y Scale	-20
Total Density	0
YMC Density	0
Black Density	0
Overlay Density	0

## 14-6. 拡張設定

拡張設定では以下の設定変更が出来ます。

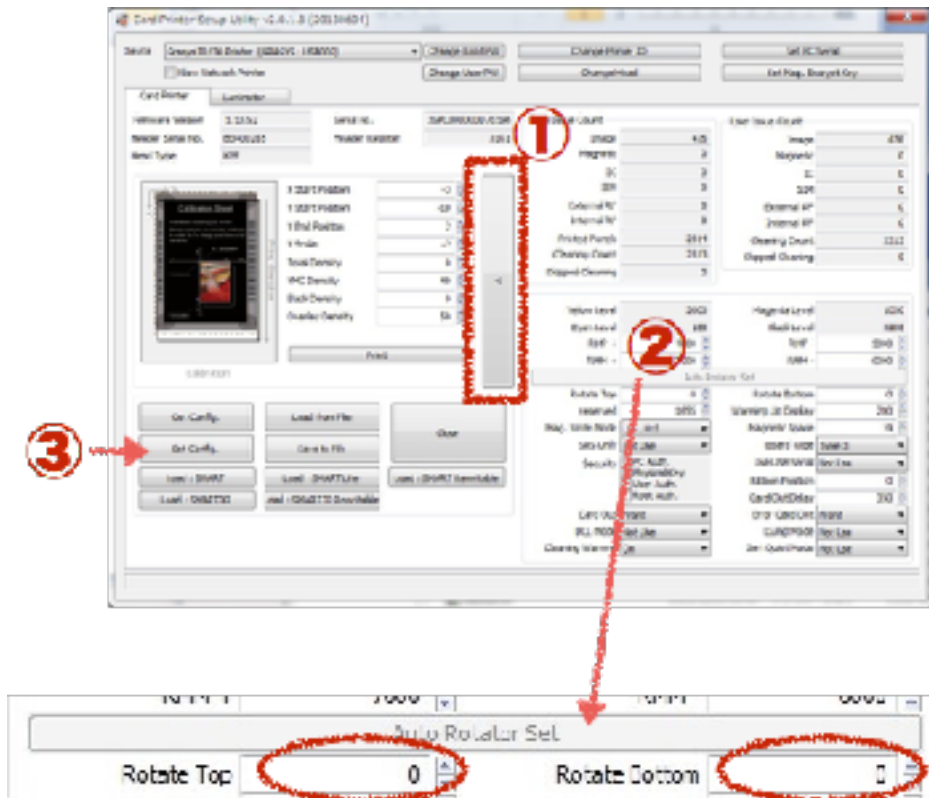
故障やプリンタを使用出来なくなる場合がありますので他の設定値は変更しないでください。



### 14-6-1 ローテーター角度の調整 (ID130W/ID150W/150Lのみ)

ローテーターの角度がずれると、ローテーター入口にカードが引っかかり、ローテーターへの搬送エラー（エラー6）やローテーターからの排出エラー（エラー7）が発生する場合があります。

これらが発生した場合、あらかじめプリンタ背面のカード排出部のカバーを開いてローテーターにカードが無いか確認してください。カードがある場合は取り除いてからおこなってください。



## 14-6-2 設定手順

①の拡張ボタンをクリックして拡張メニューを表示します。

下図は拡張メニューが表示された状態です。

②Auto Rotator Setボタンをクリックするとローテータが自動調整されます。

このとき、Rotate Top とRotate Bottomの設定値（角度）が変化します。

③のSet Configをクリックするとプリンターに設定値が反映されます。

Set Configを実施しなければプリンターに設定は反映されませんのでご注意ください。

再度、印刷テストを行ない、ひきつづきエラーが発生する場合は下図②矢印のRotate Top とRotate Bottomの値を0にして③のSet Configをクリックしプリンターに設定値を反映してからAuto Rotator Setボタンをクリックして繰り返してください。

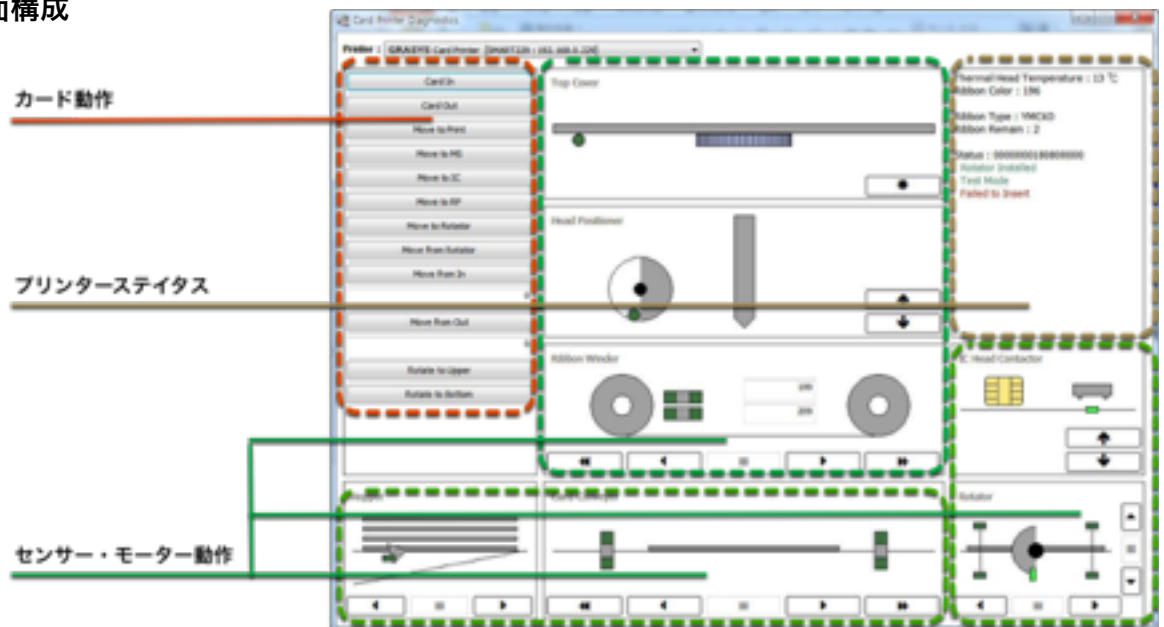
設定を数回繰り返しても良くない場合はコールセンターまで連絡してください。

## 14-7. プリンタ診断

CardDiagnosticsはセンサーとモーター、カード搬送の動作チェックを行うソフトウェアです。

- 1 印刷プロセス毎のカード移動確認
- 2 プリンターの状態
- 3 各センサーとモーターの状態

### 14-7-1 画面構成



### 14-7-2 カード搬送動作チェック

画面左側のボタンを操作します。

Card In : ホッパーからカードを挿入

Card Out : プリンター内からカードを排出

Move to Print : 他の位置のカードをプリント位置へ移動

Move to MS : 他の位置のカードを磁気位置へ移動

Move to IC : 他の位置のカードを接触IC位置へ移動

Move to RF : 他の位置のカードを非接触IC位置へ移動

Move to Rotator : 他の位置のカードをローテータ内へ移動

Move from Rotator : ローテータ内のカードをローテータ手前へ移動

Move from In: Cardinの後、下段のボックスに入力した数値 (mm)

分をカードインセンサー部分から移動します。

Move from Out: Cardinの後、下段のボックスに入力した数値

(mm) 分をカードアウトセンサー部分から移動します。

Rotate to Upper: カードを表面に反転します。

Rotate to Bottom: カードを裏面に反転、カードを裏面に反転します。



### 14-7-3 プリンターのステータス確認

画面右側にプリンタのステータスが表示されます。

Thermal Head Temperature: プリントヘッドの温度を表示

Ribbon Color: 戻り値を表示

Ribbon Type: リボン種を表示

Ribbon Remain: リボン残量を表示

Status: 動作状態を表示



### 14-7-4 センサーのステータス確認

#### ホッパー

**ホッパーセンサーとモーターの状態をチェックします。**

カードがホッパー内にある場合はグリーン色で点灯します。カード挿入だけでなく、カードを載せる／外すでセンサーの動作を確認することも可能です。

\*センサー動作確認はID150シリーズのみ

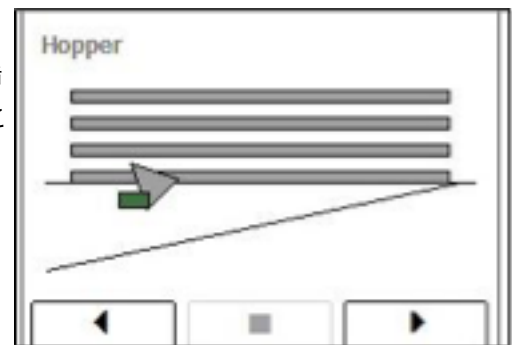
\*ID130で◀ ▶の動作をする場合、停止するには電源を切る必要があります

▶ホッパーからプリンタへカードを移動

◀ プリンターからスタッカーへカードを移動

■ホッパーモーター停止


ホッパーのローラーを清掃する際にも使用することができます。



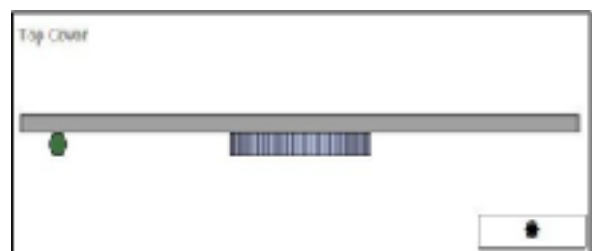
#### トップカバー

**トップカバーオープンセンサーの状態を確認します。**

カバーが開いている場合、グリーン色に点灯します。

 ボタンはファンを数秒作動させます。


ファン回転中は中央のギア状の図がピンク色に変化します。




#### ヘッド位置

**ヘッドアップダウンセンサーとモーターの状態を確認します。**

ヘッドダウン時はグリーン色に点灯します。

 ヘッドを上げる

 ヘッドを下げる



## リボン搬送

エンコーダセンサーとカラーイン/カラーアウトセンサーの状態を確認します。




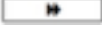

YMCKOリボンの巻取り時は下記のパターンでグリーン色が点滅し、繰り返します

上下のグリーンがY：強弱—M：強強—C：弱弱—K：強強—O：弱弱と、それぞれのパネルの色とともに変化します。

カラーアウトセンサー：そのままの状態でもップカバーを開き、インクカートリッジを取り出すとプリンタ内の中央近くに緑と青のLEDが点灯しているのが正常な状態です。どちらかが光っていない場合は故障の可能性があります。点検時にホコリなどが無いか確認しましょう。

カラーインセンサー：ヘッドの右上にある透明のプラスチック部分で、カラーアウトセンサーの光をリボンを通して認識するセンサーです、表面が汚れていないか確認しましょう。

中央に2段で表示される数値はセンサーの感度です。リボンの認識に異常がある場合はこの数値も異常値を表示します。

-  リボン供給側への巻取り動作
-  リボン供給側への高速巻取り動作
-  リボン巻取り側への巻取り動作
-  リボン巻取り側への高速巻取り動作
-  モーター停止

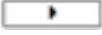
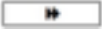




供給側

巻取り側

## カード搬送

ステップモーターとカードイン/アウトセンサーの状態を確認します。

-  カードをカードインセンサ位置からカードアウトセンサ位置まで移動
  -  カードをカードインセンサ位置からカードアウトセンサ位置まで高速移動
  -  カードをカードアウトセンサ位置からカードインセンサ位置まで移動
  -  カードをカードインセンサ位置からカードアウトセンサ位置まで高速移動
- ステップモーターを停止



カードインセンサー

カードアウトセンサー

カードがセンサーの位置にあるとグリーンに点灯します、点灯しない場合は故障の可能性があります

Move to Print、Move to MSボタン：カードインセンサーが点灯


Move to IC、Move to RFボタン：カードアウトセンサーが点灯




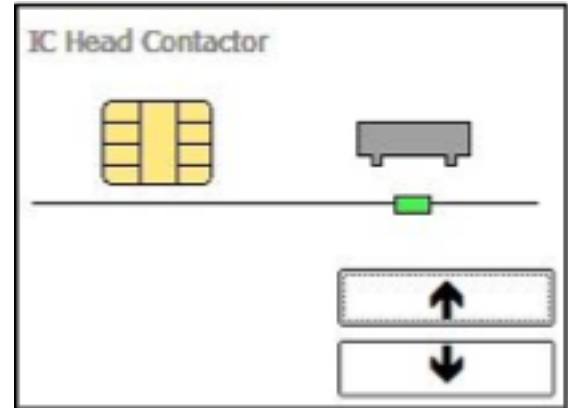
## IC Head Contactor

### ICエンコード用コンタクトチップのアップダウンセンサーの状態を確認します

エンコード用ヘッドが上がっている場合はグリーン色で点灯します。

 : ICヘッドを上げる


 : ICヘッドを下げる





## ローテーター (ID130W/ID150W/150L)

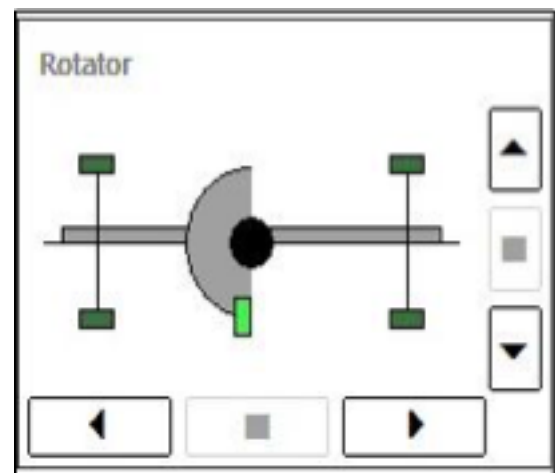
### ローテータポジションセンサーとローテータI/Oセンサーの状態を確認します

中央のグリーン表示がローテータポジションセンサです、ローテータモーターを回転した際に一定の間隔で点灯します。全く点灯しない場合は故障の可能性がります。


 ローテータモーターを回転します


 ローテータモーターを反転します

 ローテータモーターを停止します



画面左右の上下にローテーター イン/アウトセンサーの状態をグリーン点灯で表示します。  
カードがローテーターにあり、フィードモーターを動作するとカードの位置に合わせて点灯します。

 プリンターからローテータ方向にフィードモーターを動かします

 ローテータからプリンター方向にフィードモーターを動かします

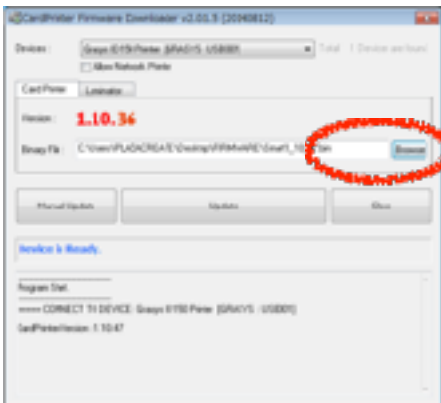
 フィードモーターを停止します

## 14-8 ファームウェア更新

インストールCD内Utilitiesフォルダの「CardPrinterFirmware」を起動します。  
起動後、画面に赤い文字で現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

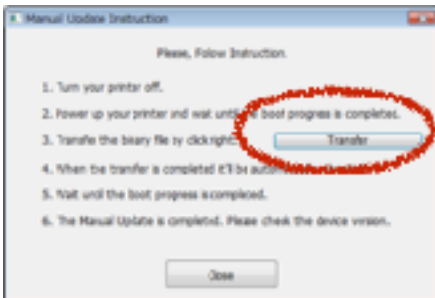


Browseボタンをクリックして更新するファームウェアのファイルを選択します。

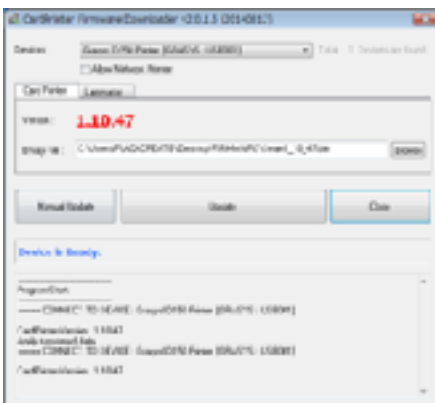


UPDATEボタン：自動アップデート機能、再起動>転送>再起動までを自動で行います。

※Manual Update：手動アップデート、転送画面が表示されます。プリンタが正常な状態であることを確認してTransferボタンをクリックしてください。転送が完了するとプリンタは自動的に再起動します。



再起動後、更新後のファームウェアバージョンが表示されますので転送後はそのままお待ち下さい。

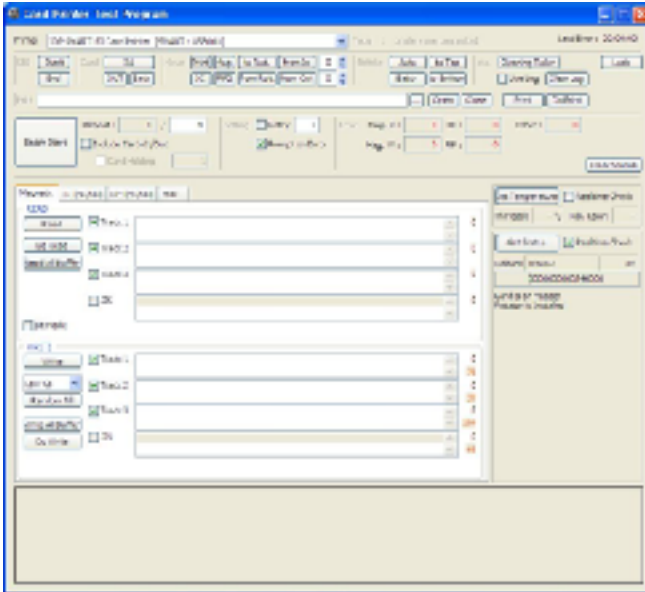


以上でアップデートは終了です

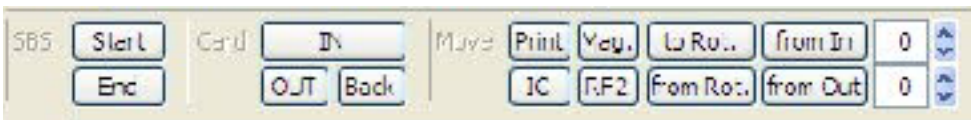
## 14-9 エンコードテスト

Card Printer Test Programを使用してオプションのエンコーダが搭載されているプリンターで磁気カード、ICカードなどへのエンコードテスト、読取りを行ないます

UtilityフォルダのCard Printer Test Programを起動します



はじめにエンコードまたは読み取るカードをホッパーにセットします



IN：カードを挿入します OUT：カードを排出します

Mag：磁気カードの読み取り位置まで移動します

IC：接触式ICカードの読み取り位置まで移動します

RF2：非接触式ICカードの読み取り位置まで移動します

カード挿入からエンコード位置まで移動

磁気カードの場合の操作： IN → Mag

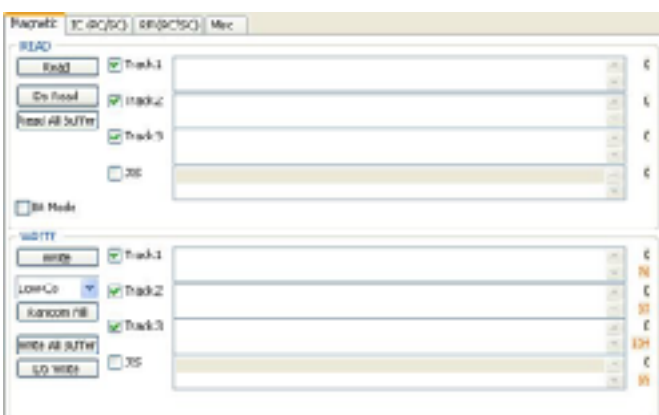
接触式ICカードの場合の操作：IN → IC

非接触式ICカードの場合の操作：IN → RF2

### 14-9-1 磁気カードの読み取りと書き込み

磁気カード： IN → Magでカードを搬送、Magneticタブを選択します。

上段は磁気読取り用、下段は書込用です



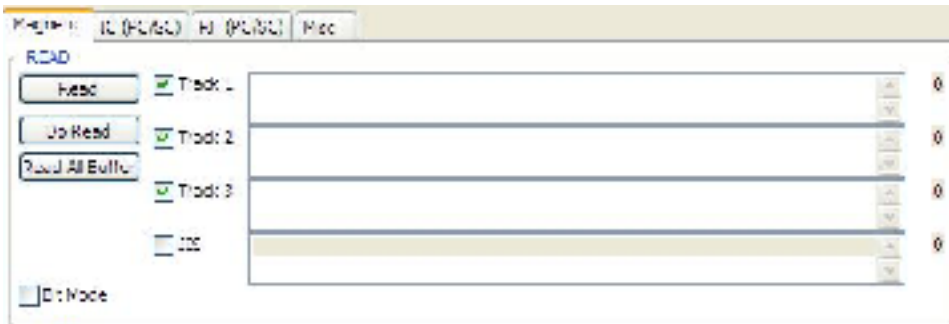
## 読み取り

磁気カードを読み取り位置まで移動した後、読み取りたいトラックをチェックします。

下図ではISO用にトラック1～3までチェックされています、JISの場合はJISをチェックすると他のチェックが外れます。

Readボタンをクリックすると読み取りが始まり、読み取った内容と文字数が表示されます。

一連の操作：IN→Mag→（トラックをチェックして）Read→OUT



## 書き込みテスト

磁気カードを読み取り位置まで移動した後、書き込みたいトラックをチェックします。

カードの種類に合わせ、Low-Co/Hi-Coを選択します。

トラック欄に直接入力することも可能ですが、Random Fillボタンでランダムな文字列を自動入力することも可能です。

Writeボタンをクリックすると文字列が書き込まれます。

この後、そのまま継続して上段の読み取りボタンをクリックすると書込内容を確認をすることが出来ます。



### 14-9-3 ICカード (Mifare) の読み取りと書込

IN → ICでカードを搬送し、IC (PC/SC) タブを選択します。

カードを読み取り位置まで移動し、Initボタンをクリックすると内蔵したカードリーダー“Duali - ABCM”がリストに表示されます。

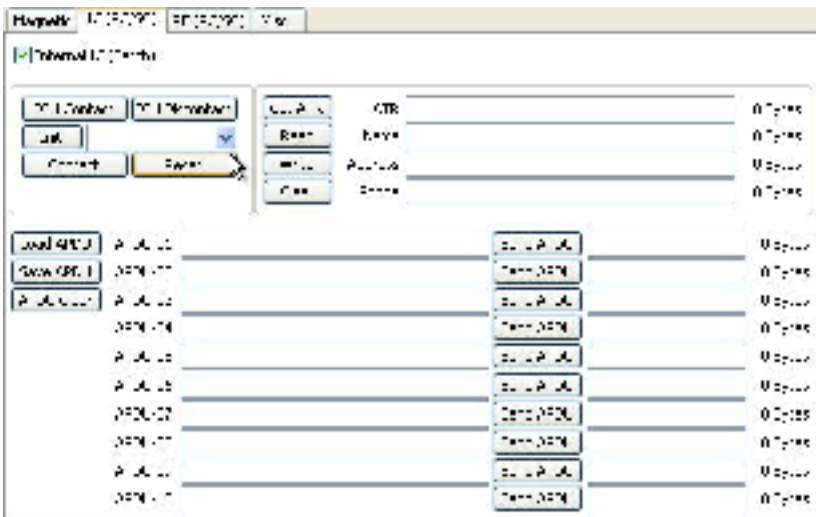
Contactボタンをクリックするとカードと通信を開始します。

Get UIDボタンをクリックするとカードのUIDが表示されます

Get ATRボタンをクリックするとカードのATRが表示されます

ReadをクリックするとICチップのブロック3, 4, 5を読み取り、それぞれName、Address、Phone欄に表示します。（注：文字エンコードはEUCで表示されます）

カードを排出する際はRESETをクリックしてICコンタクトヘッドを離してから排出してください



#### 14-9-4 非接触式ICカード（Mifare）の読取りと書込み

IN → ICでカードを搬送し、RF2（PC/SC）タブを選択します。

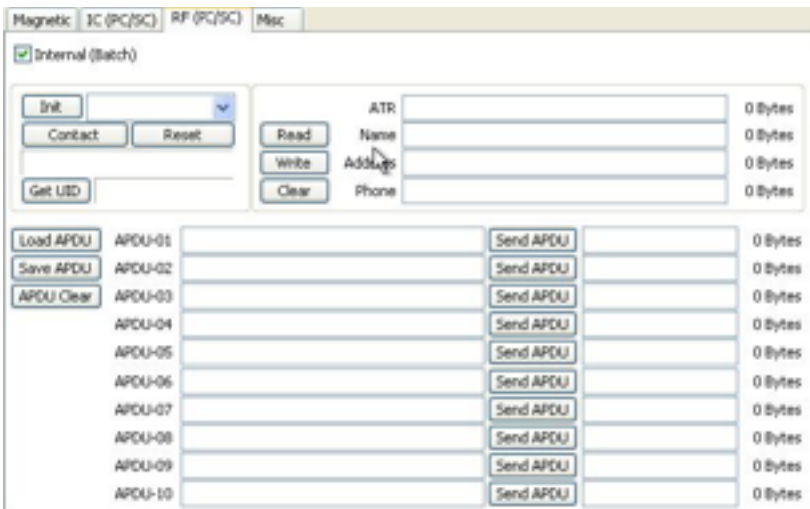
カードを読取り位置まで移動してInitボタンをクリックすると内蔵したカードリーダー”Duali - ABCM”がリストに表示されます。

Contactボタンをクリックするとカードと通信を開始します。

Get UIDボタンをクリックするとカードのUIDが表示されます。

ReadをクリックするとICチップのブロック3、4、5を読取り、それぞれName、Address、Phone欄に表示します。（注：文字エンコードはEUCで表示されます）

カードを排出する際はOUTをクリックします。



#### 書き込みテスト

ICチップのユーザーエリアにテストデータを書き込み、読み取り確認を行います。

Name（英字）：ブロック3、Address（英字）：ブロック4、Phone（数字）：ブロック5にそれぞれデータを入力してWriteボタンをクリックして書き込みます。

#### データ確認

Resetボタンをクリック、さらにInitボタンをクリックすると内蔵したカードリーダー”Duali - ABCM”がリストに表示されます。

Contactボタンをクリックするとカードと通信を開始します。

Readボタンをクリックして入力した内容が読み取れるか確認します。

カードを排出する際はOUTをクリックします。

## 15. 印刷品質

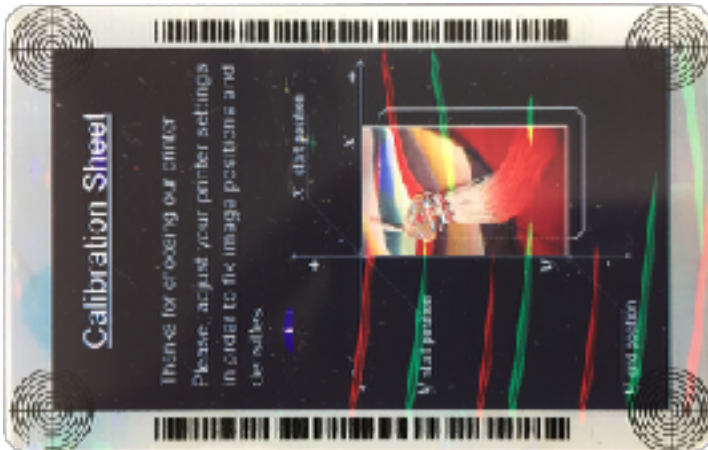
### 15-1 リボンの貼り付き、濃度が薄い／濃い

リボンの貼り付き、濃度が薄い／濃い

リボンが切れる、リボンがカードに貼りつく場合、印刷濃度が高すぎる可能性があります。

ユーティリティのCardPrinterSetupを使用してキャリブレーションカードを印刷します。

下記のように赤や緑のシワが印刷される場合はCardPrinterSetupを使用して印刷濃度を調整します



### 15-2 ホコリ、ゴミ

カードまたはリボンに粒状のホコリが付着した場合はカード横位置で縦方向に白または色の付いたスジが発生します。

下記を清掃します。

プリンター内部：各ローラー表面

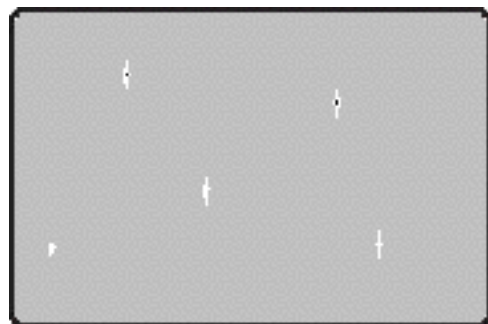
その他内部は電源を切り、エアダスター等を使用します。

カード：表裏エアダスター等を使用

リボン：離れてエアダスター等を使用

クリーニングローラー（リボンカートリッジ）

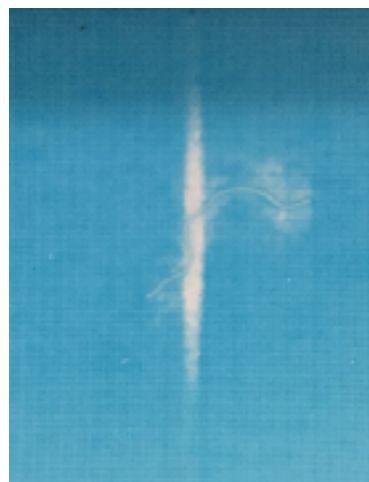
汚れがひどい場合は交換して下さい



粒状のホコリの場合



繊維ゴミとホコリの場合

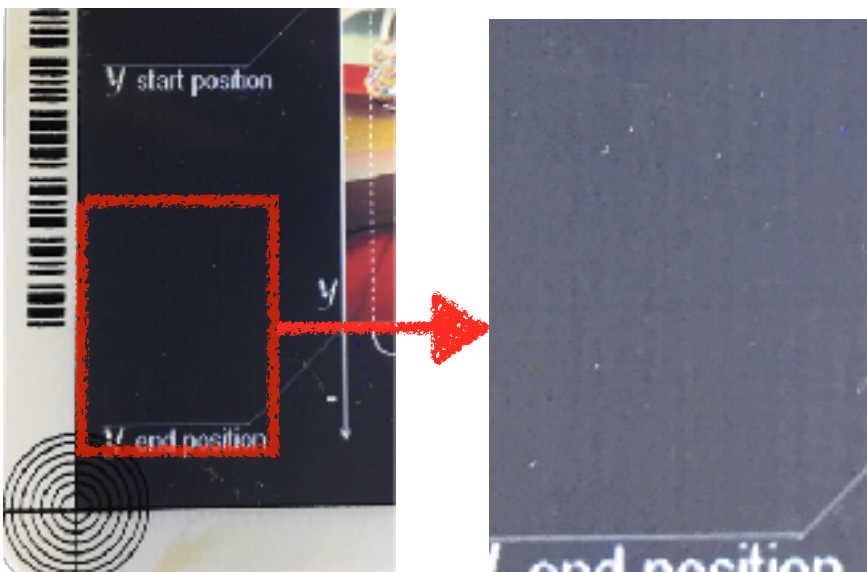


### 15-3-1 カード長辺の端がヨレ状の印刷

下図では色が付いていますが、オーバーレイだけに発生する場合は色がつかず、表面にシワが発生します。



### 15-3-2 キャリブレーションカードの黒い部分に波状の模様が発生する



これらの場合はヘッド角を調整します。

トップカバーを開き、ヘッド取付部にあるネジをプラスドライバーで回して調整します。

注：一度にネジを大きく回転しないで下さい。ネジが外れる場合があります。

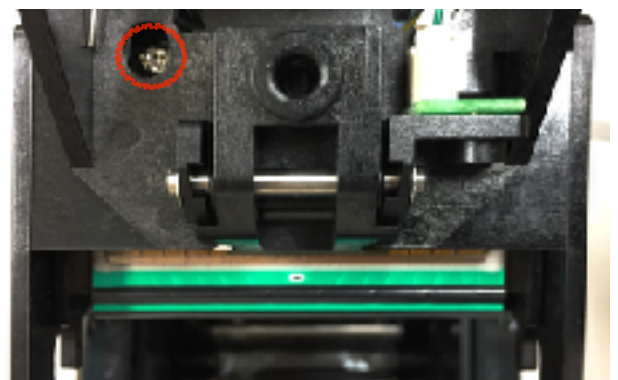
はじめに、ネジを右回りに180度（半回転）させ、印刷して状態を確認します。

シワやヨレが小さくなった場合は、更に90度右に回転して印刷し状態を確認します。

更に小さくならない場合は左に90度戻し、更に左に90度回して確認します。

\*回転幅を徐々に小さくして調整しますので回転の角度を記録しておくとう便利です。

上記で改善されない場合ははじめの状態に戻し、左側に180度（半回転）して状態を確認します



## 15-4 カードの一部が印刷されない

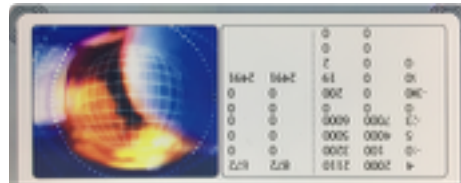
リボンの状態を確認します。

印刷されていない部分のリボンに異常がないか確認。

ヘッド表面を目視確認、クリーニングペンで清掃します。

解決できない場合、デザインソフトのファイルメニュー>プリンタ設定をクリック

プロパティ>詳細設定でExtraControl項目のFlipFrontをRotate 180Degreesに設定して反転印刷します。デザインの位置に関係なく同じ位置が印刷されない場合はヘッド故障の可能性があります。



## 15-5 カードに白い線が発生する

白線が斜めの場合、インクリボンの状態を確認します。インクに皺がより、重なると印字できない場合があります。

横位置のカードでカードの一部に白い横線が発生する場合、プリントヘッドがダメージを受けている可能性があります。ヘッド表面を目視確認、クリーニングペンで清掃してください。



### 15-5-1 カードが真っ黒な状態で印刷される

横位置のカードでカードの一部または全体に黒い横線が印刷される場合はプリントヘッド周りに異常が発生している可能性があります。コールセンターへ連絡してください。

## 15-6 色ズレ

黄色、青、赤の印刷が僅かにズれている場合、カード移動時に空滑りが発生している可能性があります。全てのローラー表面をクリーニングして下さい。

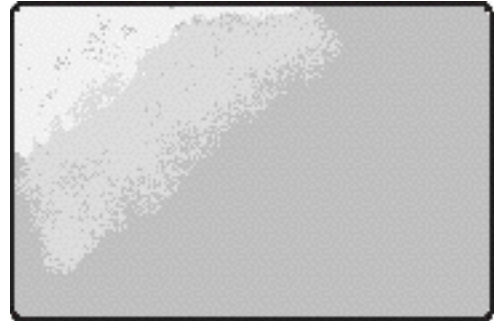




## 15-7 印刷不均一

印刷結果が均一でない場合、下記の可能性があります。

- ・リボンに皺や折れが発生し、巻き取り側に段差が生じている可能性。段差がある場合はリボンをカットして巻き取り側のリボンを取り除き、改めてゼロテープ等で巻き取り軸に貼り付け直してください。
- ・ヘッドが汚れている可能性。クリーニングしてください。
- ・濃度が高すぎるか低すぎる可能性。CardPrinterSetupを使用してキャリブレーションカードを印刷し、濃度を調整してください。



## 15-8 予期しない色

- ・カード表面が汚れている可能性があります。カード表面に手を触れると、皮脂が付着し、色が変わってしまうことがありますのでカードの扱いに注意してください。
- ・ローラー表面が汚れている可能性があります。クリーニングしてください。



## 16. 磁気エンコード

印刷中に磁気書き込みエラー（エラー14、15）が発生する場合、はじめに再試行（Retry）をお試しください。解決できない場合、下記をお試しください。

- ・カードの磁気の方法を確認してください。
- ・他のカードでお試しください。
- ・磁気書き込みの設定と使用する磁気カードの種類が合致している確認してください。
- ・磁気ヘッドに汚れが付着している可能性。クリーニングカードでクリーニングを行ってください。

## 17. リボンが認識されない

Ribbon Not FoundエラーやRibbon Move Errorが表示される場合、リボンが回転していない可能性があります。

トップカバーを開き、カラーセンサーを清掃後カートリッジを再セットしてください。

- ・リボンの取り付け方向が表裏逆になっている可能性。
- ・リボン貼り付きが発生した後、リボンが切れている可能性。
- ・他のリボンでも発生する場合は本体の故障の可能性があります。

## 18. プリンタが動作しない、認識されない

印刷操作後、プリンタが動作しない場合は下記を確認してください。

- ・使用中のUSBケーブルが1.5m以上の場合は使用できません、同梱のケーブルを使用してください。
- ・USBハブを使用している場合、他のUSBデバイスを外して確認してください。

コントロールパネル>デバイスとプリンタを選択。

- ・使用中のプリンタがグレー表示のアイコンの場合

プリンタのUSBケーブルを挿し直してください。アイコンに変化がない場合はプリンタを再起動して接続し直します。

- ・使用中のプリンタが通常のアイコンの場合

アイコンを右クリック、プリンタのプロパティを選択。Serviceタブをクリックして各項目に内容が表示されているか、特にRibbonTypeの表示が装着しているリボンと同じか確認してください。

1. 同じリボンが表示されている場合、プロパティを閉じて、プリンタアイコンをダブルクリックするとスプールが表示されますので、印刷データがスプールに送られているか確認することができます。空になっている場合は再度印刷を実行してください。（この時、プリンタの選択に間違いがないか確認してください）
2. プロパティに何も表示されていない場合や異なるリボンが表示されている場合はプリンタを再起動して接続し直してください。
3. PCを再起動、その後にプリンタを起動して接続します。
4. 初めてのインストールでプリンタが認識されない場合、デバイスとプリンタ画面で新しいアイコンができていない場合は一旦削除してください。（削除できない場合はPCを再起動してください。）
5. PC側のUSBに問題がある場合は刺し口を変えるまたはUSBハブを使用してみてください。

これらの操作でプリンタが認識されない場合はドライバーを再インストールしてください。

\*最新のソフト、ドライバーは下記からダウンロードすることができます。

<http://www.grasys.jp/grasys/software.html>

\*4～5年前のソフトウェアとはデータに互換性がありません。

\*最新のファームウェアを必要とされる場合は販売店へお問い合わせください。

本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

(C)2017 PLAZA CREATE CO., LTD. All Rights Reserved.

株式会社プラザクリエイトの許可なく複製・改変などを行うことはできません。